

---

- ダイキン「第1回 現代人の空気感調査」 -  
総合報告書  
1万人アンケート調査結果

---

平成14年6月

ダイキン工業株式会社 広報部

～ 目 次 ～

. 調査企画	1
. 調査結果の概要	4
. 調査結果	6
1 . 空気に対する意識の現状	6
日頃、空気をどの程度意識しているか	6
空気を意識するのはどんな時か	7
2 . 心地よい空気といえばどんな空気か	10
心地よい空気を五感で表すと	10
空気の理想郷	21
心地よいと感じる気温と湿度	29
3 . 我が町の空気	35
自分の町の空気はどんな空気だと感じるか	35
現在の東京の空気はどんな空気だと感じるか	46
東京で最もきれいな空気のある場所	57

## 1 . 調査企画

### 【調査目的】

人は、毎日約 20 k g もの空気を口にしています。これは食品・飲料水などの 1 日の摂取量の約 10 倍にもなります。このように人の生活に欠かせない空気。しかし現在、空気をめぐる環境は大きく変化しています。日本の住宅は、かつての襖や障子を多用した‘風通しのよい家屋’から、‘高気密高断熱住宅’に代表される、外気の大気汚気密性や断熱性の高い住宅へ変わり快適性の観点では大きく向上しました。反面、密閉度が高まったことによるシックハウス症候群など室内空気の汚染問題、高温高湿の空気環境によるダニ、カビの問題など今までにない問題が生まれ、空気環境の観点からは、新たな取り組みが必要となってきました。

ダイキン工業は、51 年前に日本で初めてパッケージエアコンを製造して以来、“空気”にこだわりまた空調の技術を進化させてきた空調のトップメーカーとして、“空気”についてより多くの方々に興味をもっていただくために「現代人の空気感調査」を実施いたしました。

今回の調査では、目に見えず、言葉では表現することの難しい空気について、「色、音、味、香り、温・湿度」の五感やイメージなどで調査をしています。ダイキン工業は「空気」をもっと“見えるものに”そしてもっと“心地よい空気”を追求していくことで、人々の健康で快適な生活を支援して参ります。

なお本調査については、今後も定期的の実施し、空気についてさまざまな角度から興味深い情報を提供し、空気に対する意識を高めていただきたいと思います。

### 【調査人数】

Web 回答者 26,647 名を性・年齢別に整理し、分析目標件数 10,000 名を等間隔抽出法にてランダムに抽出

### 【調査方法】

web 調査(インターネット、i モード)による実査  
(当社ホームページ上の「アンケートコーナー」による調査)

【調査内容】

・“空気”についてどの程度意識しているのか

- 1) 1日の中で“空気”を特に意識するのはどんな時か
- 2) “空気”を特に意識するのはどんな場所か
- 3) 1年の中で“空気”を特に意識するのはどんな季節か

・心地よい空気とはどんな空気か

- 1) 心地よい空気の流れている場所は
- 2) 心地よい空気を五感で表すと

・自分の町の空気はどんな空気だと感じるか。

- 1) 自分の町の空気に対してどんな印象を持っているか。
- 2) 東京の空気についてどんな印象を持っているか。
- 3) 東京で最も空気のきれいな場所は。

【調査期間】

2002年3月10日～3月30日

【分析対象者の基本属性】

Web回答者26,647名を性・年齢別に整理し、分析目標件数10,000名を等間隔抽出法にてランダムに抽出しました。

Web回答者の分析対象サンプル基本属性は次のとおりです。

< 性・年代 >

	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
全体	400 4.0%	2600 26.0%	3000 30.0%	2600 26.0%	952 9.5%	448 4.5%
男性	200 2.0%	1300 13.0%	1500 15.0%	1300 13.0%	350 3.5%	350 3.5%
女性	200 2.0%	1300 13.0%	1500 15.0%	1300 13.0%	602 6.0%	98 1.0%

< 職業 >

	会社員 公務員	学生	商工サ- ビス 自営	主婦	自由業	ハ-ト-アル パート	専門職	無職 その他
全体	4809 48.1%	710 7.1%	391 3.9%	2454 24.5%	160 1.6%	715 7.2%	156 1.6%	605 6.1%
男性	3530 35.3%	428 4.3%	296 3.0%	0 0.0%	101 1.0%	109 1.1%	106 1.1%	430 4.3%
女性	1279 12.8%	282 2.8%	95 1.0%	2454 24.5%	59 0.6%	606 6.1%	50 0.5%	175 1.8%

< 未既婚 >

	未婚	既婚
全 体	3242 32.4%	6758 67.6%
男 性	1855 18.6%	3145 31.5%
女 性	1387 13.9%	3613 36.1%

< 住まい >

	持ち家 戸建て	持ち家 集合住宅	社 宅 会社寮	借 家 戸建て	借 家 集合住宅
全 体	5181 51.8%	1381 13.8%	505 5.1%	427 4.3%	2506 25.1%

< 家族構成(同居) >

	一 人 住 まい	夫 婦	夫婦 + 子 供	夫 婦 + 子 供 + 祖 父 母 (孫)	その他
全 体	1085 10.9%	1755 17.6%	4712 47.1%	1281 12.8%	1167 11.7%

< 同居家族の中にいる人 >

	乳幼児	小中学生	70才以上 の方	病気がち の方	該当者なし
全 体	1887 18.9%	2371 23.7%	1289 12.9%	634 6.3%	4999 50.0%

< 居住地域 >

	北海道	東 北	北関東	南関東 (除東京)	東 京	甲信越	東 海
全 国	403 4.0%	396 4.0%	368 3.7%	2395 24.0%	1444 14.4%	280 2.8%	1225 12.3%

	北 陸	近 畿	中 国	四 国	九 州 沖 縄
全 国	200 2.0%	1898 19.0%	530 5.3%	261 2.6%	600 6.0%

## ・ 調査結果の概要

### 1 . 日頃、“ 空気 ” をあまり意識しない人が半数

「毎日」あるいは「よく意識する」が半数(49.8%)、「ごくたまに意識する」・「ほとんど意識しない」人も半数(50.3%)

女性や年輩者の方が日頃空気を意識しており、地域別には東京の人が最も意識し、四国の人が最も意識していない

### 2 . “ 空気 ” を特に意識するのは 1 日の中では「起床時」、季節は「花粉のシーズン」、場所は「自宅」か「山・高原・林間」

空気を特に意識するのは

1 日の中では、「朝起きた時」(36.3%)

季節では、「花粉のシーズン」(24.8%)や「季節の変わり目」(17.0%)

場所は、「自宅」(26.3%)や「山・高原・林間」(25.5%)

となっています。

### 3 . “ 心地よい空気 ” とは、18.2 で、湿度は 42.1%。「無色透明か澄んだ水色」で、「森林の爽やかな香り」のする、「少し甘い」、「さらさら、そよそよ」という音がかすかに聞こえる空気

“ 心地よい空気 ” を五感で表すと(最も多い回答は)、

「無色透明か澄んだ水色」の色調で、「森林の爽やかな香り」のする、「少し甘い」、「さらさら、そよそよ」という音がかすかに聞こえる空気

心地よい温度は 18.2 で、湿度は 42.1%

“ 心地よい空気 ” の「色」への回答を見ると、

若者はクールで爽やかな「水色」を、壮年は「無色透明」を、熟年は落ち着き・くつろぎ・自然の「緑色」との回答

“ 心地よい空気 ” の「香り」への回答を見ると、

「森林の香り」は 40 代や 50 代が多めで、「高原の香り」は年齢が若くなるほど増える

### 4 . “ 心地よい空気 ” が流れている「三大理想郷」は、国内では富良野・屋久島・日本アルプス。海外ではアルプス、ロッキー山脈、エーゲ海

国内では「富良野」(23.0%)。海外では「アルプス」(34.9%)

国内については、女性は「富良野」、男性は「日本アルプス」がトップ

海外については、女性は「アルプス」「エーゲ海」、男性は「アルプス」「ロッキー山脈」

5 . 心地よいと感じる温度は 18.2 、湿度は 42.1%

梅雨の季節に快適と感じる温度は 20.8 、湿度は 44.8%

心地よい温度は 18.2 で、湿度は 42.1%

梅雨時に快適と感じる温度は 20.8 。快適な湿度は 44.8%

快適と感じる温度は北海道・東海・九州&沖縄で高く、東北で低い。

快適と感じる湿度は四国が最も高く、東京が最も低い

温度&湿度のベストポジションとは逆の「高温多湿・低温乾燥」という回答傾向

適正温度&湿度や、温度・湿度の快適ポジションを理解している人は少ない。

特に 10~20 代の若者が誤解している

6 . 自分の町の“空気”については、年輩者ほど肯定的で、若い世代ほどネガティブ

“明るい”(73.7%)、次いで“乾いた”(70.0%)

年齢が高くなるほど肯定する率が高くなり、若い世代ほど「暗い」「退廃的」「冷たい」など、自分が住んで着る町に対してネガティブな印象

7 . 東京の“空気”は「せかせかして・退廃的で・不快な・うるさい」

東京以外の人から見ると、東京は「乾いた」、「温かい」空気だが、「せかせか」して「退廃的(不健康)」で、「不快な(爽快感のない)」「うるさい(騒がしい)」空気感の街

8 . 東京で最もきれいな空気のある場所ベスト3は「奥多摩」「皇居」「高尾・八王子」

東京できれいな空気のある場所は「奥多摩」「皇居」「八王子・高尾」

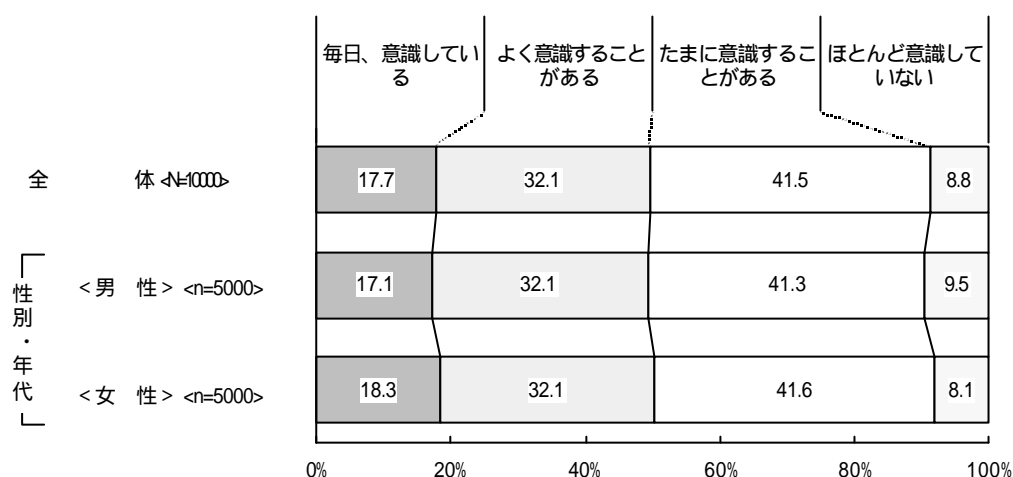
しかし、一方で「わからない」「東京にはない」という答えも多い

## 調査結果

### 1. “空気”に対する意識の現状 日頃、“空気”をどの程度意識しているか

「毎日」あるいは「よく意識する」が半数(49.8%)、「ごくたまに意識する」・「ほとんど意識しない」人も半数(50.3%)

女性や年輩の方が日頃空気を意識しており、地域別には東京の人が最も意識し、四国の人が最も意識していない



日頃、“空気”をどの程度意識しているかを聞いたところ、「たまに意識することがある」(41.5%)が最も多く、次いで「よく意識することがある」(32.1%)「毎日、意識している」(17.7%)の順で、「よく意識する」と「毎日意識する」を合計すると『日頃、空気に気を配っている』人がほぼ半数となっています。

一方、「ほとんど意識していない」人は1割以下(8.8%)にとどまります。

「毎日意識する」人の割合を見ると、男性(17.1%)より女性(18.3%)の方が多く、年代別には年齢が高くなるほど多くなる(10・20代15.9%:50代以上19.6%)傾向にあります。また、職業別には“主婦”(20.0%)で最も割合が多く、地域別には“東京に住んでいる人”(20.8%)の割合が最も多くなっています。

ちなみに、日頃、空気をあまり意識していない人が多いのは、地域別には“四国”、職業別には“学生”、家族構成では“3世代同居”(夫婦+子供+祖父母(孫))となっています。



## “ 空気 ” を特に意識するのはどんな時か

空気を特に意識するのは

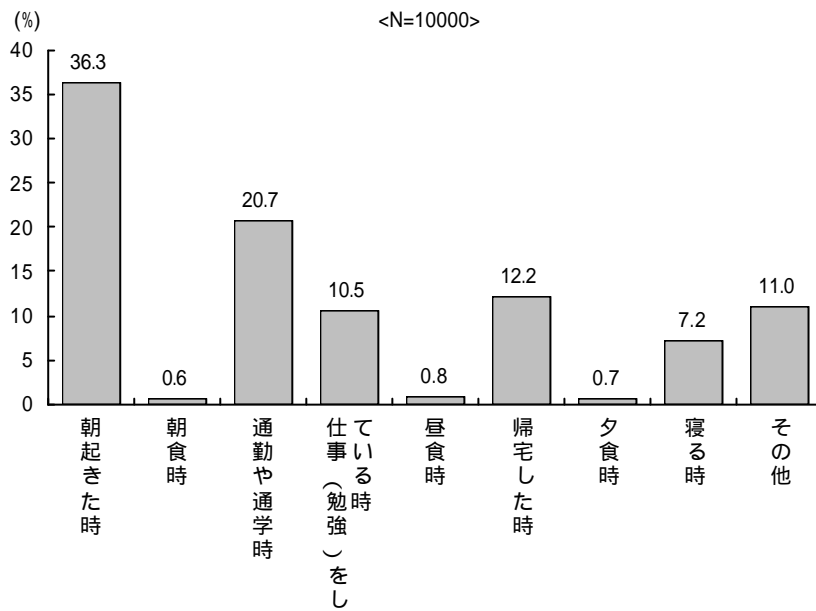
1日の中では、「朝起きた時」(36.3%)

季節では、「花粉のシーズン」(24.8%)や「季節の変わり目」(17.0%)

場所は、「自宅」(26.3%)や「山・高原・林間」(25.5%)

となっています。

### (1) 1日の中では



性別	男性<N=5000>	女性<N=5000>
朝起きた時	33.7	39.0
朝食時	0.7	0.6
通勤や通学時	24.3	17.0
仕事(勉強)をしている時	12.8	8.2
昼食時	0.8	0.7
帰宅した時	9.4	15.0
夕食時	0.7	0.8
寝る時	7.6	6.9
その他	10.1	11.9

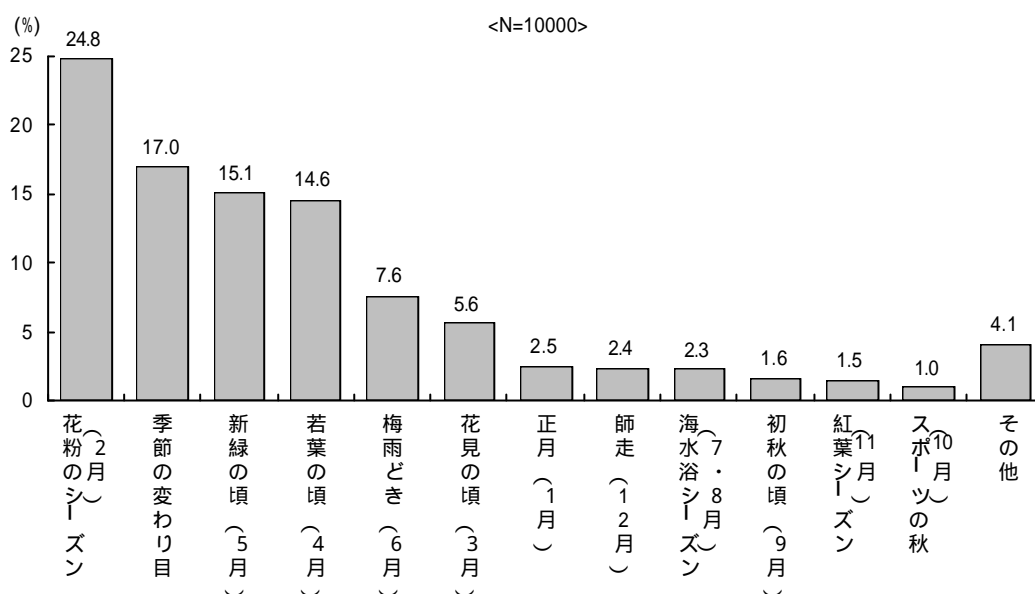
“ 空気 ” を特に意識する時はどんな時かを聞いてみました。

1日の中では、「朝起きた時」(36.3%)と回答した人が最も多く、次いで「通勤や通学時」(20.7%)、以下「帰宅した時」(12.2%)「仕事(勉強)をしている時」(10.5%)の順で、他はすべて1割以下にとどまっています。

性別・年代別にみると、「朝起きた時」は、男女とも年齢が高いほど回答が多くなっており、男性・50代以上で50.6%、女性・50代以上で50.7%と、男女ともにほぼ半数の人が「朝起きた時」と回答しています。

その他、特徴的なものとしては、「朝起きた時」は未婚者(28.3%)に比べて既婚者(40.2%)の回答が多いこと、「通勤や通学時」は学生(33.1%)の回答が非常に多いことが目につきます。

## (2) 季節的には



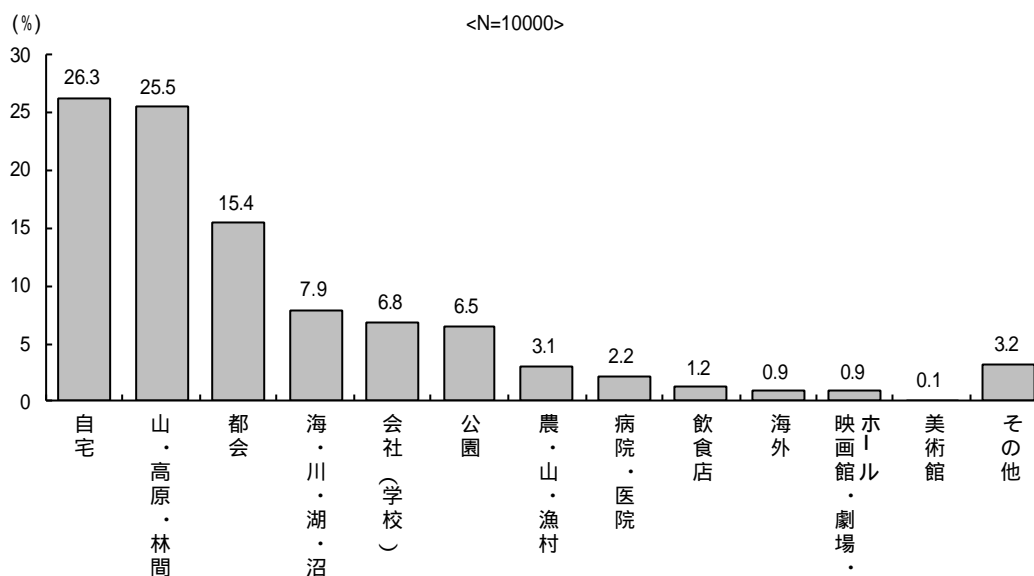
季節の中では、「花粉のシーズン (2月)」（24.8%）と回答した人が最も多く、次いで「新緑の頃 (5月)」（15.1%）「若葉の頃 (4月)」（14.6%）の順となっています。また、「季節の変わり目」との回答も2割近く（17.0%）みられます。

花粉症で困っている人の多い「花粉のシーズン」が、トップにあげられました。

性別・年代別には、「若葉の頃」や「新緑の頃」は50代以上の年輩者で多く、「梅雨どき」「季節の変わり目」は女性で多めとなっています。また、「海水浴欲シーズン」は10・20代の男性の回答が多めでした。

居住地別には、「花粉のシーズン」は、北海道（9.2%）だけが1割以下の回答にとどまり、「梅雨どき」も梅雨のない北海道のみ2%台（2.7%）と少なくなっています。また、「季節の変わり目」は、北海道（25.3%）だけが2割を超える回答となっています。

### (3) 場所では



場所では、「自宅」(26.3%)と回答した人が最も多く、次いで「山・高原・林間」(25.5%)の順となっています。以下、「都会」(15.4%)が続きますが、他はいずれも1割以下の回答にとどまっています。

性別・年代別には、「都会」は10・20代の若者の回答が多く、「自宅」は女性の回答が多めとなっています。

また、地域別には「都会」は東京で多く、「自宅」は北関東で、また、「山・高原・林間」は中国でそれぞれ回答が多めとなっています。

## 2.“心地よい空気”といえどんな空気が

### “心地よい空気”を五感で表すと

“心地よい空気”を五感で表すと(最も多い回答は)、

「無色透明か澄んだ水色」の色調で、「森林の爽やかな香り」のする、「少し甘い」、「さらさら、そよそよ」という音がかすかに聞こえる空気

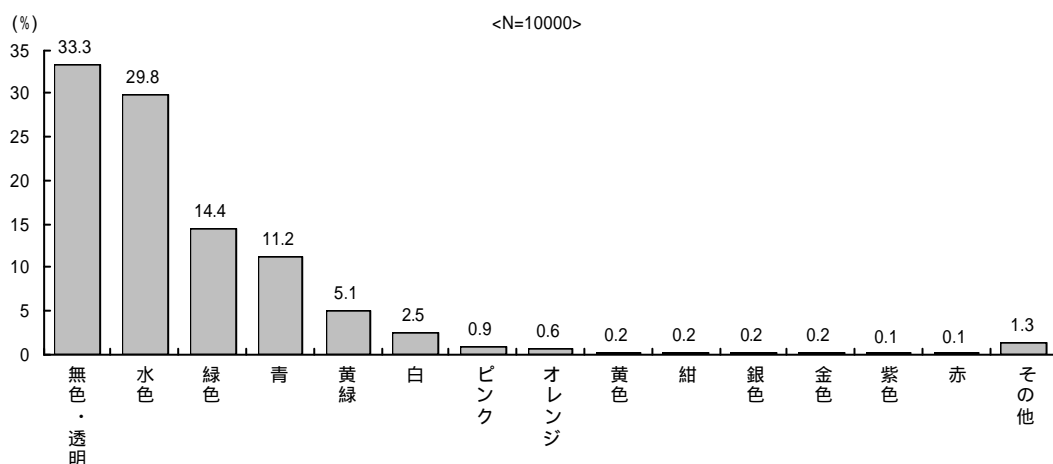
“心地よい空気”の「色」への回答を見ると、

若者はクールで爽やかな「水色」を、壮年は「無色透明」を、熟年は落ち着きくつろぎ自然の「緑色」との回答が多め

“心地よい空気”の「香り」への回答を見ると、

「森林の香り」は40代や50代が多めで、「高原の香り」は年齢が若くなるほど回答が増える

#### (1)色に例えると



日頃、目に見えない“空気”ですが、“心地よい空気”といえどんな空気を「色」、「味」、「香り」、「音」など五感に例えて答えてもらいました。

まず、「色」に対する回答を見てみると、「無色透明」(33.3%)と回答した人が最も多く、次いで「水色」(29.8%)をあげた人が多くなっています。以下、「緑色」(14.4%)「青」(11.2%)の順となっています。

目に見えない“空気”であるが故に「無色透明」という答えが多いという結果ですが、ほぼ同様の割合で「水色」も選ばれています。同系の「青」を加えると「水色青」という回答が4割を超えます。

世界中で一番好まれる色とされている「水色青」は、日本人は清流の色として、欧州人はコートダジュールの空の色として、米国人はスカイブルーとして認識しているようです。“心地よい空気”の色は「清流の色」(水色青)をイメージした人が多かったとも言えそうです。

性別にみると、「無色透明」は女性に多く、「青色」は男性に多い傾向が見られます。

年代別にみると、クールで爽やかな「水色」は男女ともに年齢が若い人ほど回答が多めでした。一方、落ち着きくつろぎ自然を表す「緑色」は男女ともに年齢が高くなるほど回答が増えています。

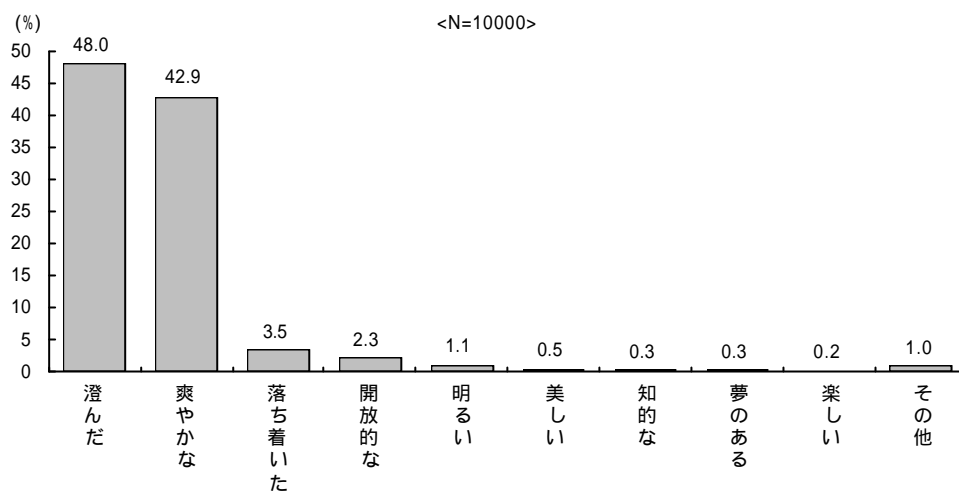
(%)

	無色透明	水色	緑色	青色
男性小計	30.0	30.1	15.1	14.1
10・20代	23.7	35.4	11.1	17.2
30代	32.4	28.7	15.0	13.3
40代	36.0	28.3	15.8	11.0
50代以上	27.3	25.1	22.4	15.1
女性小計	36.7	29.4	13.7	8.3
10・20代	33.0	35.1	11.2	8.7
30代	38.6	28.4	13.1	7.9
40代	40.0	27.1	14.9	7.8
50代以上	34.1	23.6	18.7	9.4

< 参考 > 色の持つ意味

	水色青	緑色
イメージ	クール(冷静)、知性、理性、気品、静寂、清潔、信頼、爽やか、涼しい、冷たい、孤独、悲しみ、未熟	落ち着き、くつろぎ、優しい、安全、安心、安息、平等、自然、健康、新鮮、栄養、豊か、青春、成長
連想	空、海、川、湖、水、雨、地球	森、草原、田園、若葉、公園、野菜
心理作用	鎮痛、集中力促進、興奮の沈静化	鎮静、ストレス軽減、緊張緩和、催眠
その他	世界中で一番好まれる色 最も平和で穏やかな色	安全安心を与える色 自然界の色彩の母

## (2)その色の感じ（雰囲気）は

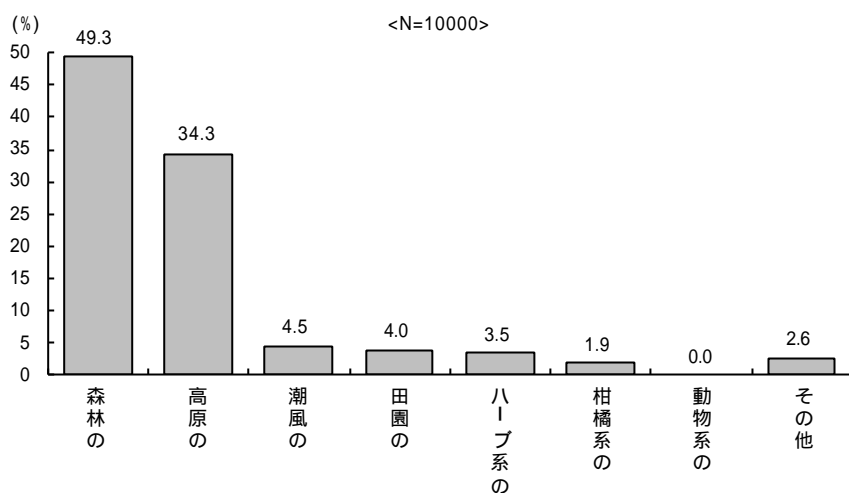


次に、その色の感じ（雰囲気）を聞いたところ、「澄んだ」（48.0%）と「爽やかな」（42.9%）を回答した人が多く、他はすべて僅かな回答にとどまっています。

性別年代別にみると、「澄んだ」は、男女ともに年齢が低いほど回答が多めで、「爽やかな」は、男女ともに年齢が高いほど回答が多くなっています。

職業別には、「爽やかな」は、学生（31.1%）の回答だけが3割台にとどまります。

(3) 香りに例えると



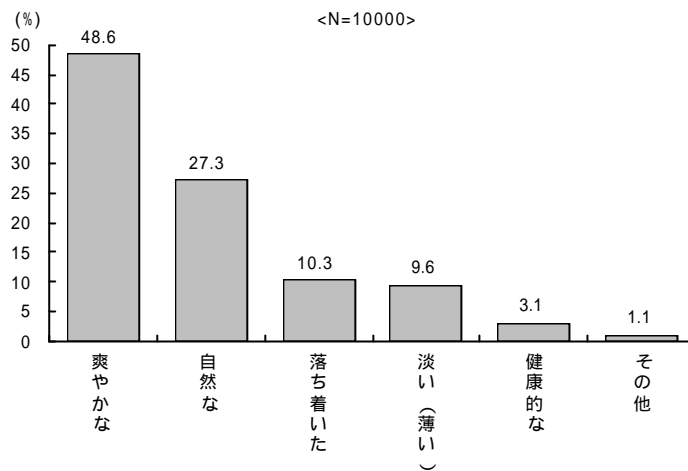
また、香りに例えると、「森林の香り」(49.3%)と回答した人が最も多く、次いで「高原の香り」(34.3%)が続きます。他はすべて1割以下の回答にとどまりました。

性別にみると、「ハーブ系」は女性に多く、「高原」は男性に多い傾向が見られます。

年代別にみると、「森林」は、男女ともに40代や50代の回答が多めで、「高原」は男女ともに年齢が若くなるほど回答が増える傾向にあります。また、「潮風」は1020代の男性で多めとなっています。

		(%)			
		森林の	高原の	潮風の	ハーブ系の
男性小計	男性小計	48.1	35.8	4.8	2.9
	10・20代	44.1	36.8	5.9	3.7
	30代	47.5	36.8	4.2	2.9
	40代	52.3	34.1	4.0	2.0
	50代以上	50.0	34.4	5.3	2.7
女性小計	女性小計	50.4	32.9	4.2	4.0
	10・20代	46.3	36.5	4.5	4.1
	30代	50.7	32.8	3.7	4.1
	40代	54.1	30.2	3.8	4.3
	50代以上	51.7	30.4	5.0	3.4

(4)その香りの感じ(雰囲気)は

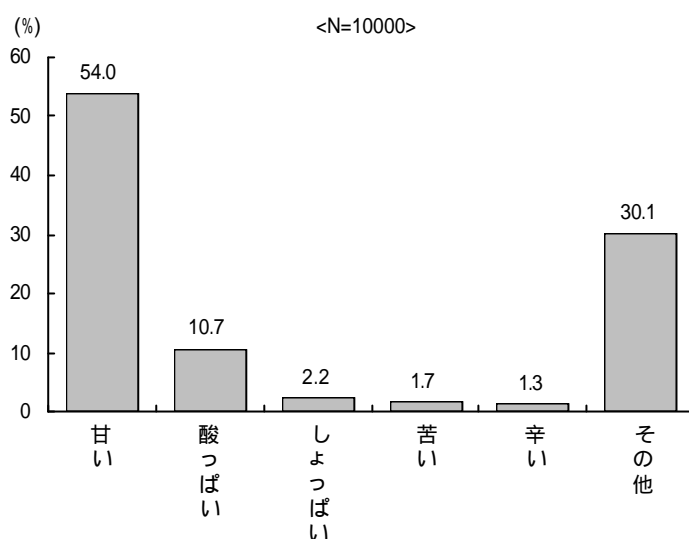


その香りの感じ(雰囲気)を聞いてみました。「爽やかな」(48.6%)と回答した人が最も多く、次いで「自然な」(27.3%)となっています。以下、「落ち着いた」(10.3%)「淡い(薄い)」(9.6%)の順ですが、「健康的な」(3.1%)と回答した人はごく僅かでした。

性別年代別にみると、「落ち着いた」は、男性では年齢が低いほど回答が多い傾向がみられます。



(5)味に例えると



味に例えると、「甘い」(54.0%)と回答した人が最も多く、半数を超える人がそう回答しています。次いで、「酸っぱい」(10.7%)の順ですが、他はいずれもごく少数にとどまります。

なお、その他の内訳を見ると「わからない答えようがない思い浮かばない」が11.8%、「味の無い無味」が7.7%、「フルーツ味」が6.3%などとなっています。

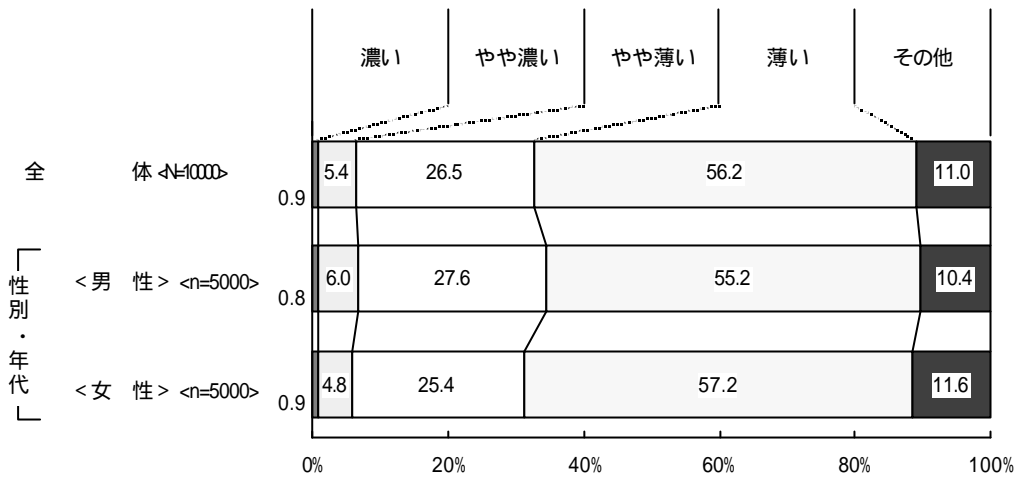
性別にみると、「甘い」は男性に多く、「味の無い」は女性に多い傾向が見られます。

年代別にみると、「酸っぱい」は、男女ともに年齢が高くなるほど回答が増える傾向にあります。

(%)

	甘い	酸っぱい	味の無い
男性小計	58.0	9.7	7.0
10・20代	57.7	8.6	6.3
30代	56.8	9.9	6.6
40代	60.3	10.2	7.9
50代以上	56.7	10.7	7.6
女性小計	50.1	11.8	8.4
10・20代	49.3	10.9	7.3
30代	47.7	11.7	8.0
40代	51.8	12.1	9.8
50代以上	53.9	13.3	9.0

(6)その味の強さは



また、その味の強さを聞いたところ、「薄い」(56.2%)と回答した人が最も多く、次いで「やや薄い」(26.5%)の順となっており、両者を合計すると“薄い”が8割を超えています(82.7%)。

(7)音に例えると(自由回答：連想する音や擬音語)

多岐にわたる表現が記入されていますが、集約すると「さらさら」「そよそよ」「さ～」「しーん」「さわさわ」などの回答が多く見られました。

また、「音のない無音」「静寂」や、「小川のせせらぎ清流の音」「小鳥のさえずり」「ピアノやフルートといった楽器の音」などといった回答も多く見られました。

擬音語

さらさら・サラサラ	(1274)	さらら	(22)
そよそよ	(985)	スーン	(21)
さぁ・さ～・サー	(535)	ツーン	(19)
しーん	(515)	シャキッ	(19)
さわさわ	(497)	は～	(16)
すうっ・すうっと	(426)	スイー	(15)
ふわ～・ふわふわ	(335)	キラサラ	(15)
キ～ン	(140)	キリッ・きりり	(14)
スカ、スカット	(103)	スキッ	(14)
さわ～	(101)	キラリ	(13)
びーん	(97)	ザー・ザーザー	(13)
さやさや・サヤサヤ	(87)	ス・ス・	(13)
きらきら・キラキラ	(79)	ピーン	(13)
リ～ン・リン・リンリン	(78)	ひや～・ひやっ	(13)
ふー・ふう～・ふうふう	(74)	キ・ン・キン	(12)
さら～	(73)	ピン	(12)
シュワー	(63)	シャー	(11)
ヒュー、ヒューヒュー	(60)	スーハー	(11)
ほわほわ・ほわっ・ホワーン	(50)	ゆらゆら	(11)
さらっ	(48)	ピキーン	(10)
ふわり・ふんわり・ふわ～	(44)	シャキ～ン	(10)
しゅー・しゅ～ん	(43)	ビシッ・ビシッと・ビシンビシ	(9)
ス・ッ	(42)	か～ん	(9)
ファ～	(41)	ひらひら	(9)
しんしん	(32)	ラララ	(8)
すわ～	(30)	しずしず	(8)
さらーっ、サラーッと	(29)	しゃららら	(8)
さわわ	(28)	ずうーずうー	(8)
さらりさらり	(27)	スハー	(8)
スッキリ	(26)	フュ～、フューフュー	(8)

ほんわか、ほんわり	(8)	さよさよ	(3)
しゃらしゃら	(7)	すらさら	(3)
しゆるしゆる	(7)	さしすせそー	(3)
すいすい	(7)	ピ～ン	(3)
きらら	(7)	むう～	(2)
キューン・キュン	(6)	パチパチ	(2)
スヤスヤ	(6)	はんなり	(2)
シャーン	(6)	パンパン	(2)
しゃら～ん	(6)	パーン	(2)
カラッ	(6)	トントン	(2)
キンキン	(6)	のほほん	(2)
ビュー	(6)	つんつん	(2)
チ～ン	(6)	フーン	(2)
ぼかぼか	(6)	フォーン	(2)
ヒュルヒュル	(5)	ひゅう～	(2)
ピリ・ビリビリ・ブリッ	(5)	キュッキュッ	(2)
すら～	(5)	ク -	(2)
かさかさ	(4)	ひゅん	(2)
しとしと	(4)	チュンチュン	(2)
スコーン	(4)	ピンポーン	(2)
ランラン	(4)	パラパラ	(2)
ルルル	(4)	ぴかぴか	(2)
ホッ	(4)	キューツ	(2)
ヒューン	(4)	ピッキーン	(2)
ヒュルル	(4)	ピピピ	(2)
ピヨピヨ	(3)	ぽよ～ん	(2)
ピ - ン	(3)	ポロン	(2)
ふかふか	(3)	きゅ～ん	(2)
ふよふよ	(3)	カロン	
ポーン	(3)	ぐおんぐおん(空気が生まれ力強い感じ)	
ファーン	(3)	ヒャンヒャン(分子がぶつかりあっている音)	
ふい～	(3)	ひゆるりひゆるりらら(石川さゆりファン)	
ちょろちょろ	(3)	キロロキロロ	
ソワソワ～	(3)	カラーツ	
ピチピチ	(3)	キャツキャツ	
カキーン	(3)	きゅう	
カラーン	(3)	きら～ん	
クリーン	(3)	キンコンカン	

## 音のない

音のない・無音	(257)
静寂	(211)
森の静寂	(23)
凜とした静けさ	(11)
永平寺の山奥の静寂	

## 楽器音楽

ピアノの音	(43)
フルートの音	(34)
ハープの音	(31)
オルゴールの音	(17)
バイオリンの音	(17)
クラシック音楽	(16)
トライアングルの音	(13)
水琴・水琴窟の音	(12)
笙の音、和楽器みたいな音色	(7)
琴の音	(6)
笛の音	(6)
オカリナの音	(5)
尺八の音色	(5)
パイプオルガンの和音	(4)
ピッコロの音	(4)
ホルンの音	(4)
ワルツ	(4)
バラード系の曲	(3)
トランペットの音	(3)
ベートーベン 6 番田園の第一楽章	(3)
ハンドベルのような澄んだ音	(3)
エンヤの歌声	(2)
オーボエの音	(2)
バロック音楽	(2)
ビブラホンの音	(2)
モーツァルトの曲	(2)
ヒーリング音楽	(2)

## 自然界の音

小川のせさらぎ・清流の音	(331)
小鳥のさえずり、鶯の鳴き声	(135)
風の音・そよ風の音・薫風	(91)
風鈴の音・鈴の音	(59)
波の音・さざ波の音	(51)
木々や草花が風に揺れる音	(47)
こだま・エコー・山彦	(25)
木々の間を風が通り抜ける音	(17)
滝の音	(17)
庭園のししおどしの音	(8)
雪の降る音	(7)
水滴の音	(6)
氷の音	(4)
鈴虫・虫の音	(4)
雨音	(2)
きつつきの音	
蛙の鳴き声	

## その他の音

お寺の鐘の音・余韻	(19)
教会の鐘の音	(10)
クリスタルの響き	(9)
汽笛の音	(7)
炭酸水の泡の音	(4)
寝息・赤ちゃんの寝息	(3)
涼やかな音	(3)
鈴・風鈴の音	(3)
チャイムの音	(3)

## 形容詞

ひんやり	(7)
しっとり	(6)
爽やかな	(6)
クール	(2)
みずみずしい	(2)
クリアーな	(2)

なお、“心地よい空気”への「色」、「味」、「香り」、「音」など五感に例えてもらった回答内容からは次のようなグループ(五感の組み合わせ)が抽出されました。

グループ 「無色透明で、ほのかに甘い、森林の香りのする、さらさらした」空気  
サンプル数 = 1657 名(16.6%) : 男性 48% : 女性 52%  
年代 = 10~20代 25.4%、30代 30.1%、40代 31.2%、50代以上 13.3%  
既婚者 70.5%、持ち家率 68.5%

グループ 「澄んだ水色の、甘い、高原の香りのする、爽やかな」空気  
サンプル数 = 1611 名(16.1%) : 男性 54.2% : 女性 45.8%  
年代 = 10~20代 34.4%、30代 28.2%、40代 25.6%、50代以上 11.8%  
既婚者 65.9%、持ち家率 63.4%

グループ 「無色透明で、味のない、森林の香りのする」空気  
サンプル数 = 1263 名(12.6%) : 男性 40.8% : 女性 59.2%  
年代 = 10~20代 26.0%、30代 33.1%、40代 28.2%、50代以上 12.7%  
既婚者 68.9%、持ち家率 64.8%

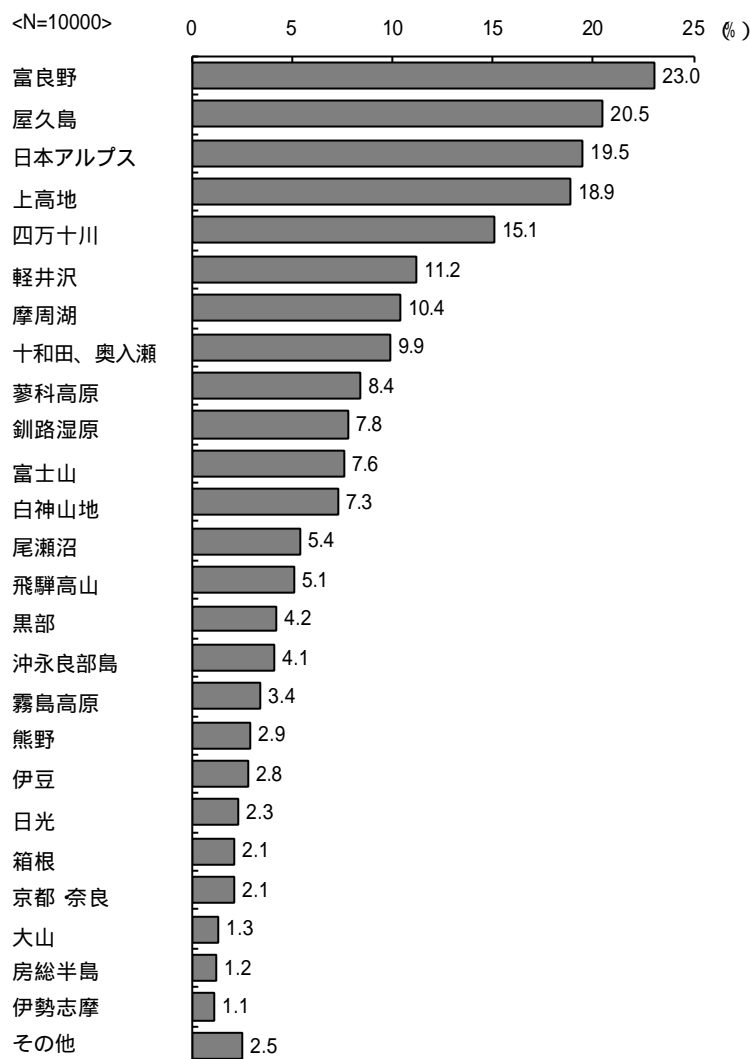
グループ 「爽やかな水色で、味のない、高原の香りのする」空気  
サンプル数 = 857 名(8.6%) : 男性 44.6% : 女性 55.4%  
年代 = 10~20代 41.0%、30代 29.1%、40代 20.4%、50代以上 9.6%  
既婚者 61.3%、持ち家率 65.2%

グループ 「緑色の、ほのかに甘い、森林の香りのする、そよそよした」空気  
サンプル数 = 811 名(8.1%) : 男性 57.5% : 女性 42.5%  
年代 = 10~20代 22.2%、30代 28.9%、40代 28.5%、50代以上 20.5%  
・ 既婚者 72.6%、持ち家率 70.2%

## 空気の理想郷（“心地よい空気”が流れていると思う場所）

国内では「富良野」（23.0%）。海外では「アルプス」（34.9%）  
 国内については、女性は「富良野」、男性は「日本アルプス」がトップ  
 海外については、女性は「アルプス」「エーゲ海」、男性は「アルプス」「ロッキー山脈」

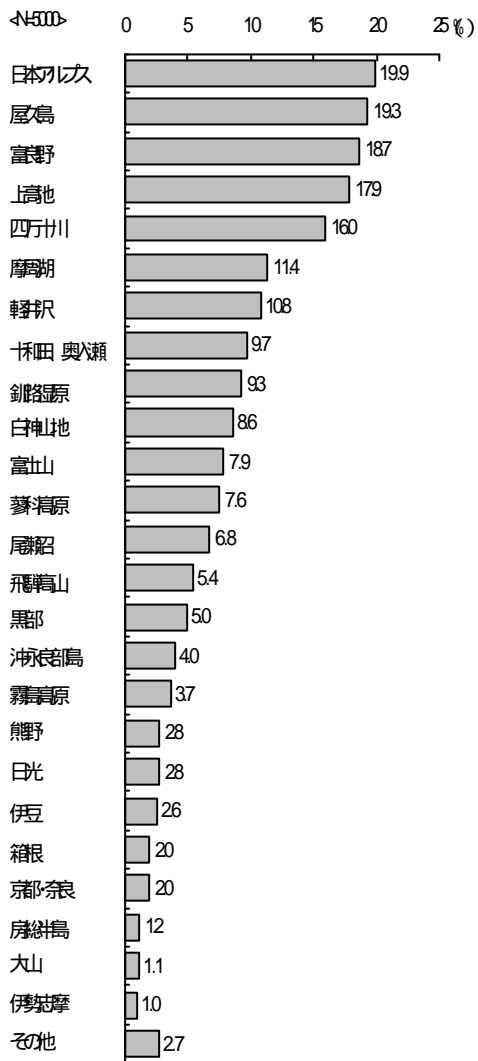
### (1) 国内では



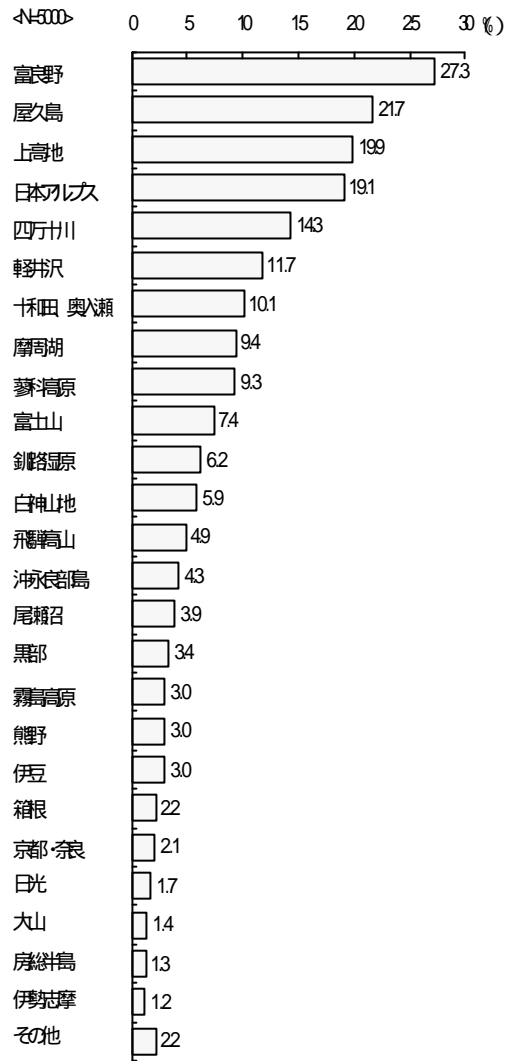
国内で“心地よい空気”が流れていると思う場所を聞いてみました。「富良野」（23.0%）と回答した人が最も多く、次いで「屋久島」（20.5%）、以下「日本アルプス」（19.5%）「上高地」（18.9%）「四万十川」（15.1%）の順となっており、さらに「軽井沢」（11.2%）「摩周湖」（10.4%）が続きます。

性別・年代別にみると、「富良野」は、男性（18.7%）より女性（27.3%）の回答が多めで、年齢が低い女性ほど回答が多い傾向がみられます。

< 男性 >



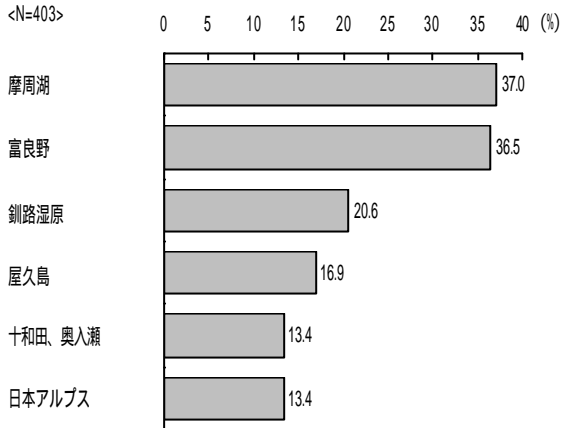
< 女性 >



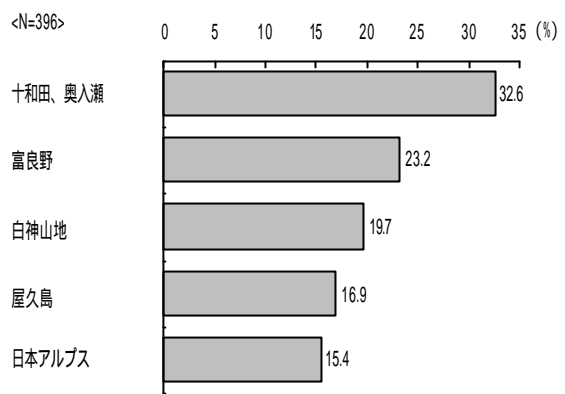


居住地別にみると、北海道で、「釧路湿原」(20.6%)、「摩周湖」(37.0%)、「富良野」(36.5%)が他の地域の居住者より多くあげられています。また、東北で「十和田、奥入瀬」(32.6%)、「白神山地」(19.7%)が、四国で「四万十川」(33.7%)が、九州・沖縄・海外で「屋久島」(33.0%)、「霧島高原」(18.8%)が他の地域よりそれぞれ多く回答されており、“地元びいき”が伺えます。

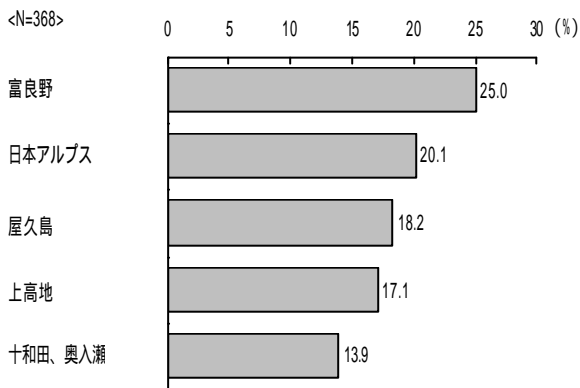
< 北海道 >



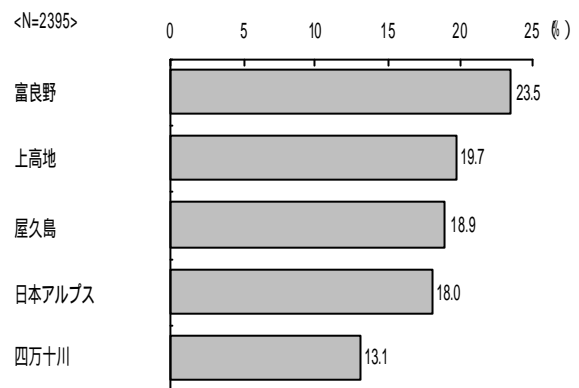
< 東 北 >



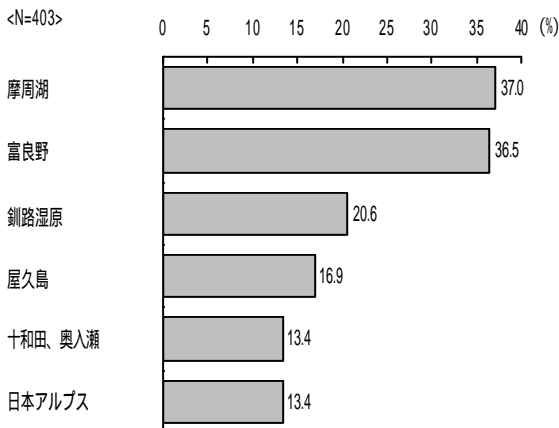
< 北関東 >



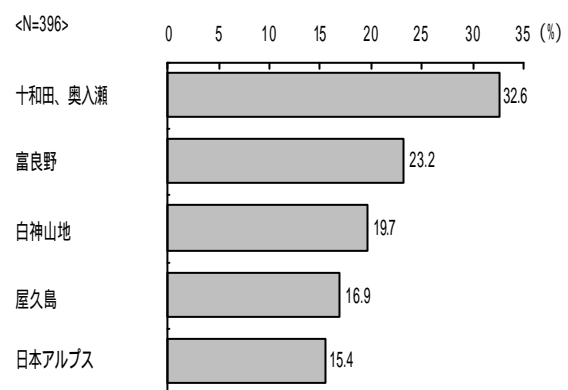
< 南関東(東京を除く) >



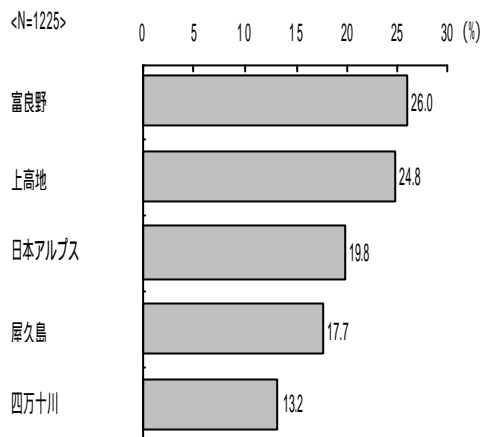
< 東 京 >



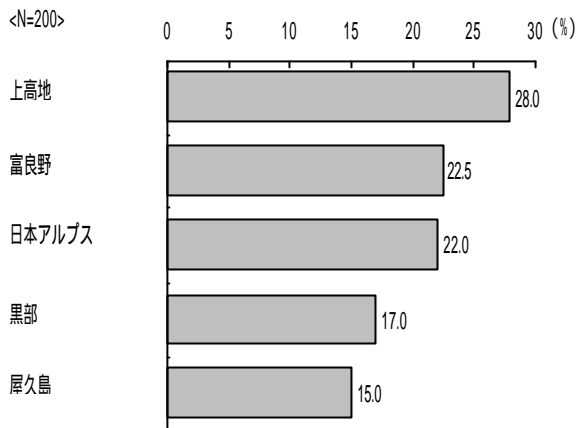
< 甲信越 >



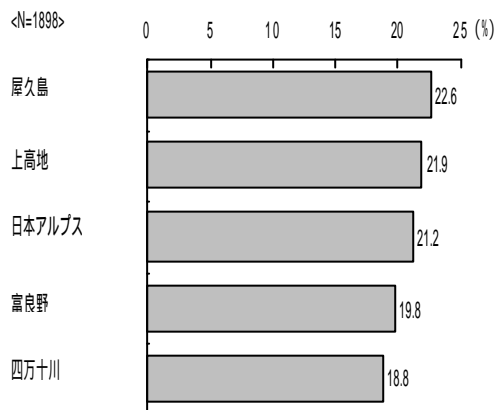
< 東 海 >



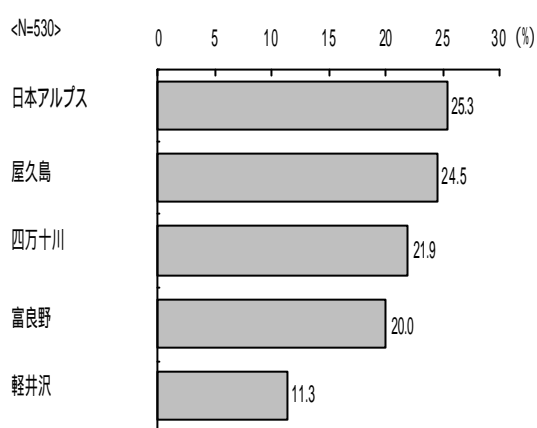
< 北 陸 >



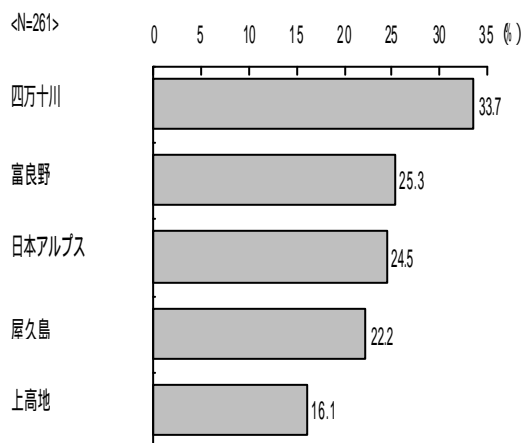
< 近 畿 >



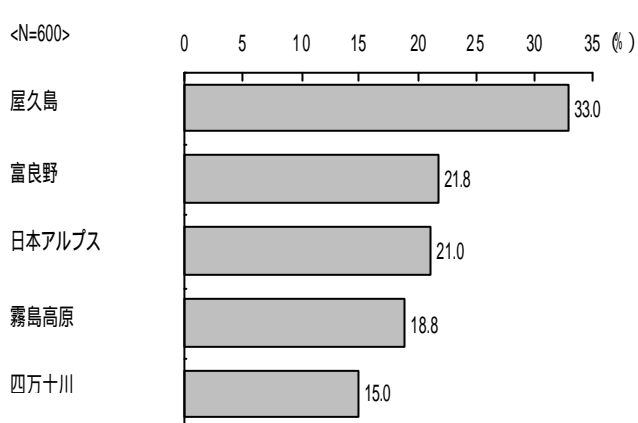
< 中 国 >



< 四 国 >



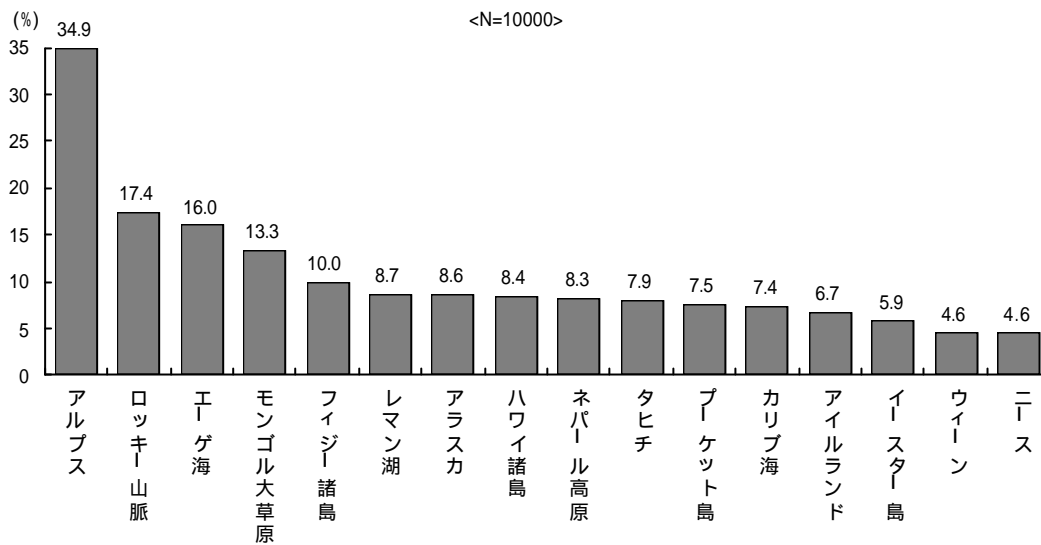
< 九州・沖縄 >



なお、性・年代別には、40代以上の「上高地」「十和田・奥入瀬」は年輩者に支持され、「軽井沢」は10～20代の若い女性に支持されています。

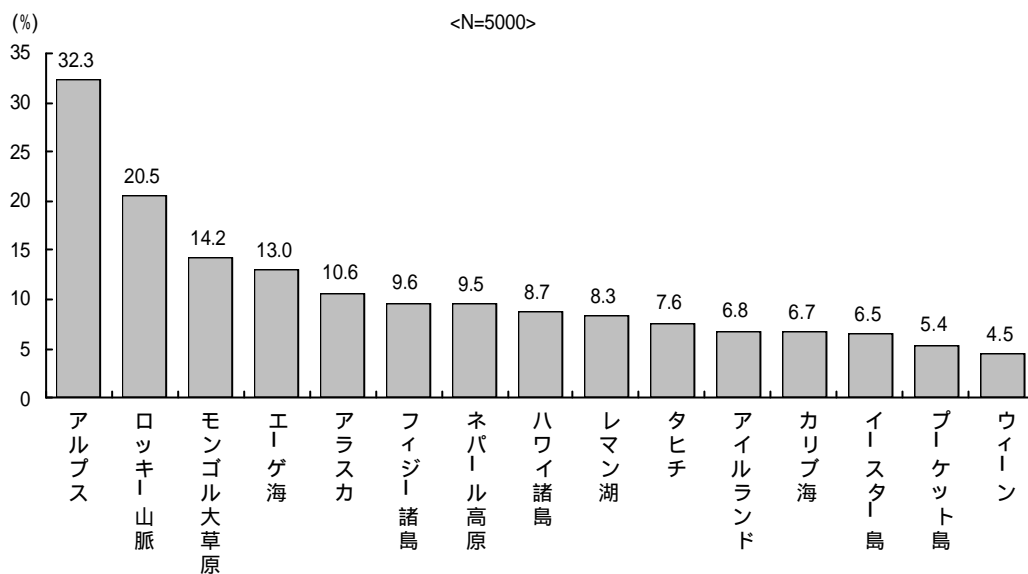
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男 10・20代	日本アルプス	屋久島	富良野	四万十川	軽井沢
30代	富良野	屋久島	日本アルプス	上高地	四万十川
40代	上高地	日本アルプス	屋久島	富良野	四万十川
50代以上	上高地	十和田・奥入瀬	四万十川	屋久島	摩周湖
女 10・20代	富良野	屋久島	日本アルプス	軽井沢	上高地
30代	富良野	屋久島	上高地	日本アルプス	四万十川
40代	富良野	上高地	日本アルプス	四万十川	十和田・奥入瀬
50代以上	上高地	屋久島	日本アルプス	富良野	十和田・奥入瀬

(2) 海外では

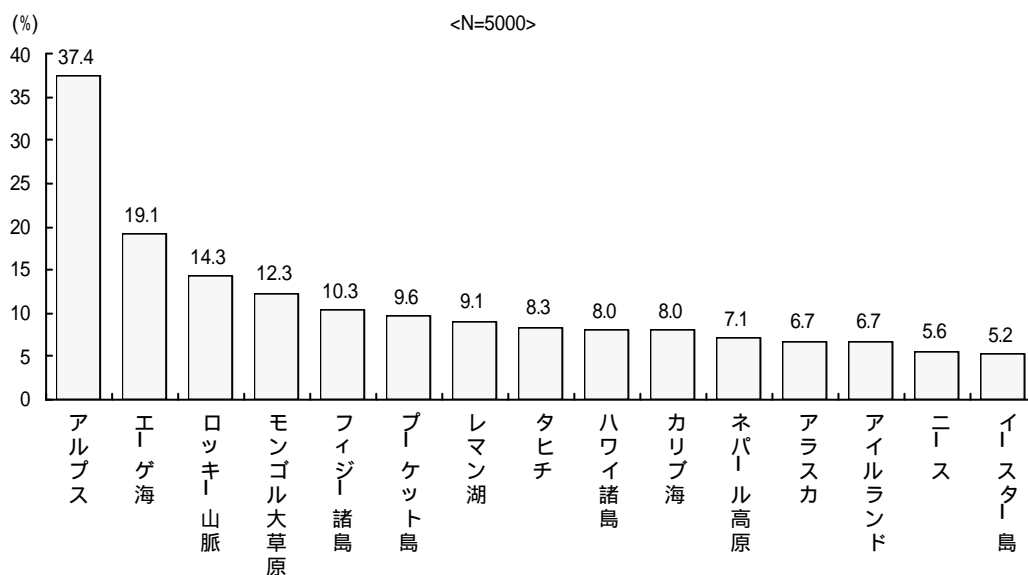


また、海外で“心地よい空気”が流れていると思う場所を聞いたところ、「アルプス」(34.9%)という回答が最も多く、3人に1人が「アルプス」をあげました。次いで「ロッキー山脈」(17.4%)「エーゲ海」(16.0%)、以下「モンゴル大草原」(13.3%)「フィジー諸島」(10.0%)の順となっています。

< 男性 >



< 女性 >



性別にみると、いずれも「アルプス」がトップに上げられています。男性は次いで「ロッキー山脈」が支持されていますが、女性では「エーゲ海」が第2位となっています。

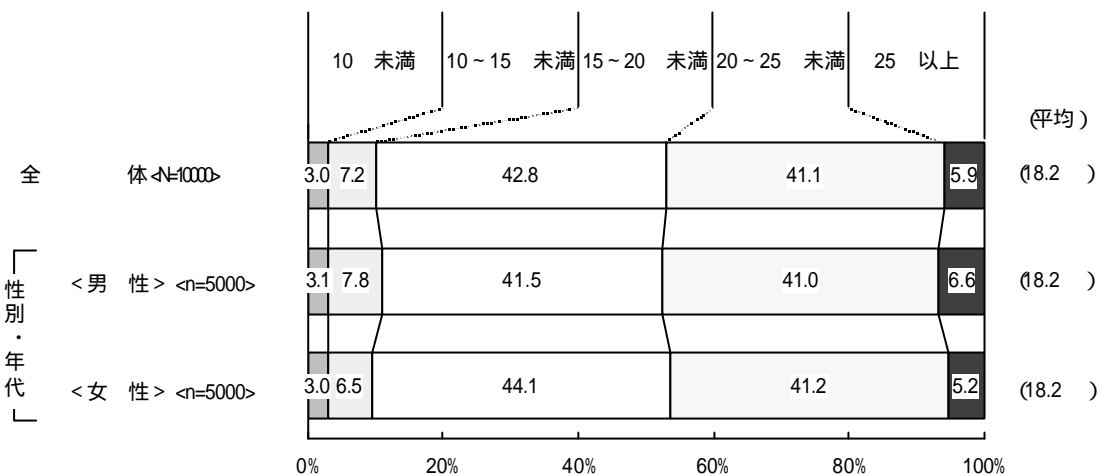
なお、性・年代別には次のような結果となっています。

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
男 10・20 代	アルプス	モンゴ <sup>ル</sup> 大草原	ロッキ-山脈	エ-ゲ海	フィジ <sup>ン</sup> -諸島
30 代	アルプス	ロッキ-山脈	エ-ゲ海	モンゴ <sup>ル</sup> 大草原	ネパール
40 代	アルプス	ロッキ-山脈	モンゴ <sup>ル</sup> 大草原	アラスカ	エ-ゲ海
50 代以上	アルプス	ロッキ-山脈	モンゴ <sup>ル</sup> 大草原	レマン湖	エ-ゲ海
女 10・20 代	アルプス	エ-ゲ海	モンゴ <sup>ル</sup> 大草原	フィジ <sup>ン</sup> -諸島	カリブ海
30 代	アルプス	エ-ゲ海	ロッキ-山脈	プ-ケット島	モンゴ <sup>ル</sup> 大草原
40 代	アルプス	エ-ゲ海	ロッキ-山脈	モンゴ <sup>ル</sup> 大草原	レマン湖
50 代以上	アルプス	エ-ゲ海	ロッキ-山脈	レマン湖	モンゴ <sup>ル</sup> 大草原

## “心地よい”と感じる気温と湿度

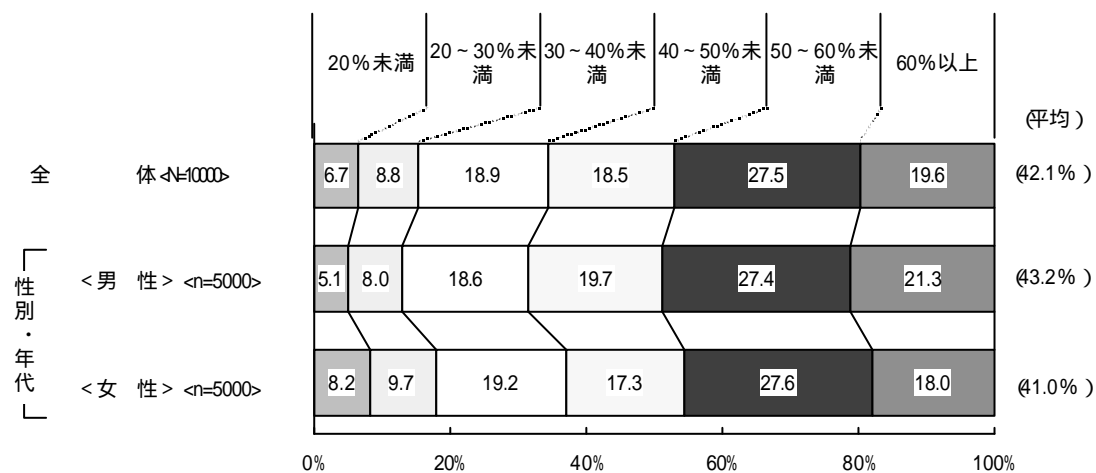
“心地よい空気”の温度は 18.2 、湿度は 42.1%  
 梅雨の季節に快適さを求めるとしたら、温度は 20.8 、湿度は 44.8%

### (1) 温度



“心地よい空気”を温度に例えると、「15～20 未満」(42.8%)と「20～25 未満」(41.1%)を回答した人が多く、それ以上の答えも、それ以下の答えも少なくなっています。“心地よい空気”の平均温度は 18.2 でした。

### (2) 湿度



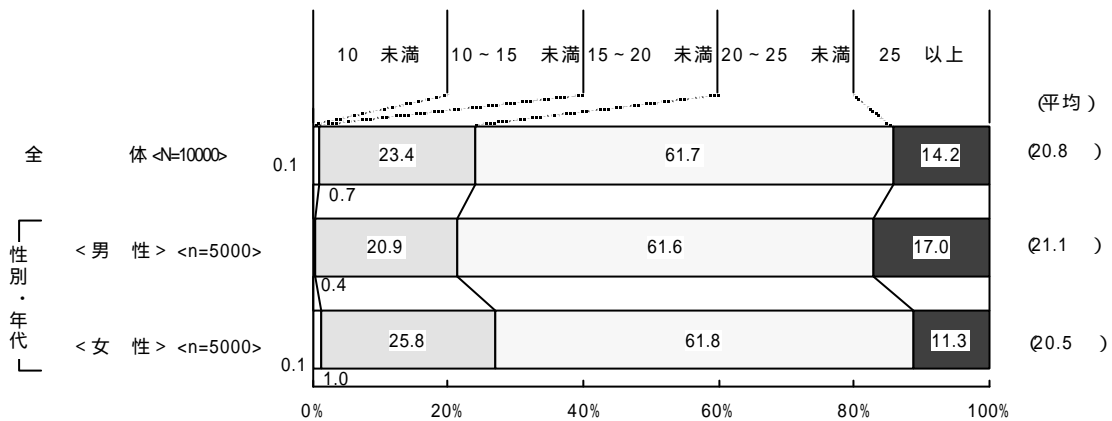
“心地よい空気”を湿度に例えると、何%くらいかを聞いてみました。「50～60% 未満」(27.5%)の回答が最も多く、次いで「60%以上」(19.6%)、以下「30～40% 未満」(18.9%)「40～50% 未満」(18.5%)の順となっています。“心地よい空気”の平均湿度は 42.1%でした。

未婚者別にみると、未婚者の平均湿度は 39.9%で、既婚者の 43.2%より若干低めです。

(3) 梅雨の季節に快適さを求めるにはどんな温度と湿度が必要か

快適な温度は 20.8 。快適な湿度は 44.8%  
 快適温度は北海道・東海・九州&沖縄で高く、東北で低い。快適湿度は四国が最も高く、東京が最も低い  
 温度・湿度のベストポジションとは全く逆で、「高温多湿」「低温乾燥」の回答傾向  
 適正温度&湿度や、温度・湿度の快適ポジションを理解している人は少ない

(1) 温度



梅雨の季節に快適さを求めるとしたら、どんな温度と湿度が必要かを聞いてみました。快適な温度は、「20~25 未満」(61.7%)の回答が最も多く、次いで「15~20 未満」(23.4%)、以下「25 以上」(14.2%)の順となっています。快適な温度の平均は、20.8 でした。

年代別の回答者平均温度は男女ともに、10・20代(男性 20.6、女性 20.2)が最も低めであり、40代(男性 21.4、女性 20.8)が高めの温度を快適としています。また、女性の方が総じて低めの温度を快適としています。(男性の平均は 21.1、女性は 20.5)

地域別の回答を見ると、回答者の平均温度は北海道・東海・九州&沖縄が最も高く 21.1、逆に最も低かったのが東北で 20.3 となっています。北海道は「20~25 未満」(67.0%)という回答が他の地域より多めで、九州・沖縄は「25 以上」(16.7%)という回答が多めとなっています。一方、東北は「15~20 未満」の回答が多めとなっています。

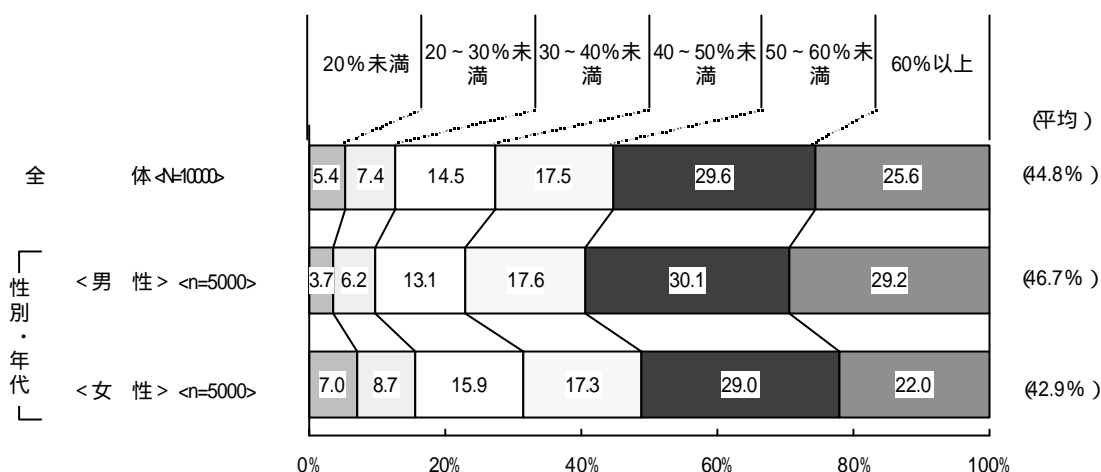
< 居住地別回答者の平均温度 >

	北海道	東北	北関東	南関東 (除東京)	東京	甲信越	東海
全国	21.1	20.3	20.8	20.7	20.6	20.7	21.1

	北陸	近畿	中国	四国	九州 沖縄
全国	20.5	20.8	20.8	20.6	21.1



(2) 湿度



次に、快適な湿度は、「50～60%未満」(29.6%)の回答が多く、次いで「60%以上」(25.6%)、以下「40～50%未満」(17.5%)「30～40%未満」(14.5%)の順となっています。快適な湿度の平均は、44.8%でした。

性別にみると、女性の平均湿度は42.9%で、男性の46.7%より若干低めです。女性は男性よりも「低温・乾燥」を快適と感じている傾向がうかがえます。

未婚別に見ると、未婚者の平均湿度は42.6%で、既婚者の45.9%よりやや低めとなっています。

地域別の回答を見ると、回答者の平均湿度は四国が最も高く46.7%、逆に最も低かったのが東京で44.0%となっています。

<居住地域別回答者の平均湿度>

	北海道	東北	北関東	南関東 (除東京)	東京	甲信越	東海
全国	45.3%	45.5%	45.1%	45.3%	44.0%	45.8%	44.8%

	北陸	近畿	中国	四国	九州 沖縄
全国	45.6%	43.8%	45.1%	46.7%	45.2%

参考までに、梅雨の季節の快適な温度と湿度の関係を見てみると、人に快適だと思われる「温度16～26」「湿度40～60%」の範囲内の回答者は全体の44%でした。快適な温度と湿度の組み合わせは個人差もありますが、56%の人がこの範囲からはずれた回答をしています。

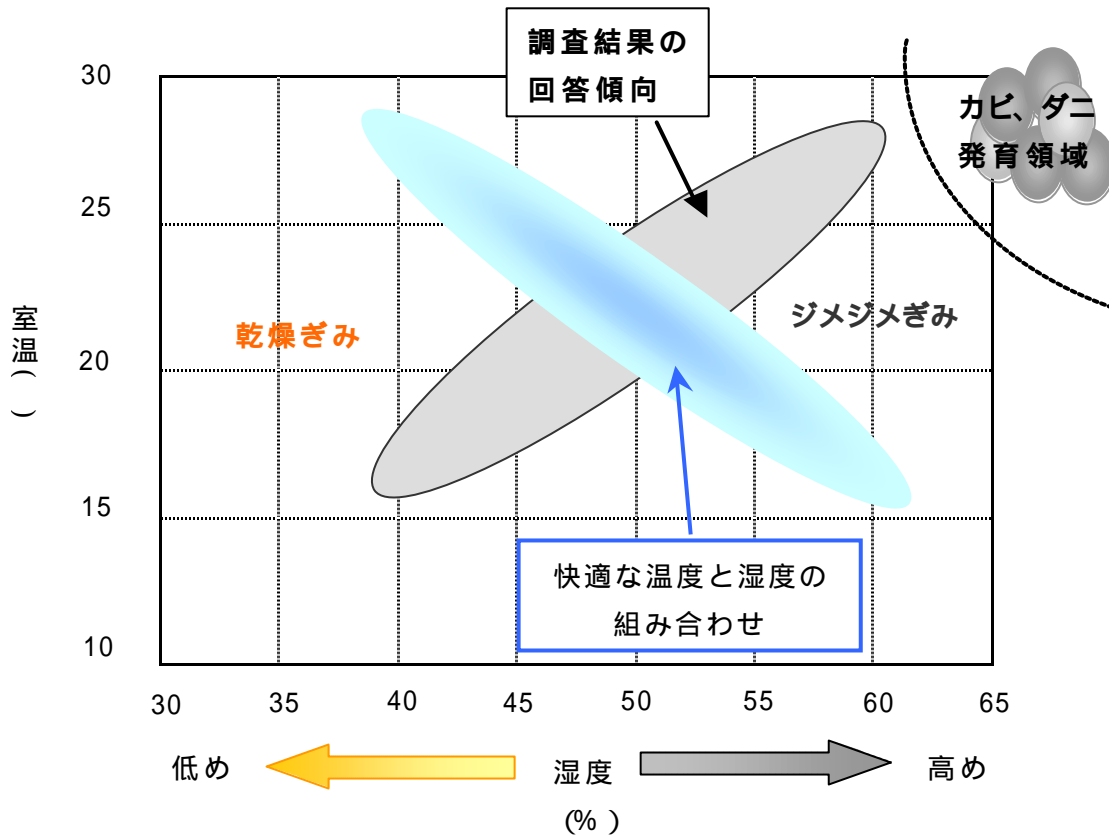
また、快適な温度と湿度の組み合わせは、例えば25なら湿度45%程度、20なら湿度55%程度などと温度が高まれば快適湿度は低めとなるのに対して、回答傾向は全く逆でした。回答結果は「高温多湿」「低温乾燥」の傾向にあると言えます。太平洋側の日本の「夏の気候、冬の気候」など生活環境に近い回答がなされているとも言えそうです。

いずれにしても、温度と湿度の妥当な組み合わせを理解している人は少ないと言えます。

	20%未満	20～30%	30～40%	40～50%	50～60%	60～70%	70～80%	80%以上	平均湿度(%)	平均温度
10 未満	6	-	-	-	1	-	-	-	10.9	3.3
10～12	10	3	4	3	5	2	-	-	28.3	10.0
12～14	8	3	6	5	5	5	-	-	33.4	12.5
14～16	53	59	97	66	96	52	16	2	37.7	15.0
16～18	43	44	67	72	80	45	8	4	38.8	16.6
18～20	101	164	259	315	392	256	48	7	41.9	18.1
20～22	195	275	574	630	1151	685	142	18	44.2	20.0
22～24	61	88	234	360	670	490	85	7	47.8	22.5
24～26	50	72	182	259	485	475	95	15	48.8	24.7
26～28	6	24	24	27	56	55	11	4	47.3	26.4
28 以上	6	11	7	9	16	18	10	5	47.9	31.1

人に優しいポジション
  最多回答ゾーン

< 「快適な温度と湿度の組み合わせ」と調査回答傾向 >



10～20代の回答(3000名)

	20% 未満	20～ 30%	30～ 40%	40～ 50%	50～ 60%	60～ 70%	70～ 80%	80% 以上	平均湿 度(%)	平均温 度
10 未満	3	-	-	-	1	-	-	-	12.5	2.0
10～12	8	2	2	3	1	1	-	-	23.8	10.0
12～14	3	1	5	5	-	2	-	-	32.7	12.7
14～16	36	28	48	33	43	20	8	1	35.7	15.0
16～18	13	21	24	25	34	15	5	3	39.8	16.6
18～20	38	64	93	75	100	68	17	6	40.1	18.1
20～22	70	109	203	195	317	177	44	6	42.4	20.1
22～24	27	35	81	103	142	98	28	2	44.8	22.5
24～26	27	24	53	79	111	99	24	4	46.0	24.7
26～28	3	8	14	2	16	14	4	2	45.2	26.3
28 以上	2	4	4	1	8	3	2	1	43.2	31.2

■ 人に優しいポジション      □ 最多回答ゾーン

快適「温度&湿度」は個人差もありますが、10～20代の若者の場合、約60%が「人に優しいポジション」からはずれた回答をしており、他の年代を大きく上回ります。

30～40代の回答(5600名)

	20% 未満	20～ 30%	30～ 40%	40～ 50%	50～ 60%	60～ 70%	70～ 80%	80% 以上	平均湿 度(%)	平均温 度
10 未満	2	-	-	-	-	-	-	-	10.0	6.5
10～12	2	1	2	-	3	1	-	-	34.4	10.0
12～14	5	2	2	-	4	2	-	-	31.2	12.4
14～16	11	26	41	27	47	26	8	-	40.2	15.0
16～18	14	19	32	40	40	27	3	1	40.4	16.5
18～20	48	84	132	335	670	415	81	9	42.3	18.1
20～22	101	140	294	630	1151	685	142	18	45.1	20.0
22～24	28	45	140	197	430	299	49	5	48.4	22.5
24～26	16	42	106	131	300	306	57	10	49.8	24.7
26～28	2	14	6	19	34	32	7	1	48.3	26.4
28 以上	3	7	3	6	7	10	7	4	49.5	30.8

■ 人に優しいポジション      □ 最多回答ゾーン

30～40代では、約70%が「人に優しいポジション」に合致する回答となっています。温度と湿度の関係をよく理解していると言えそうです。

50 代以上の回答 (1400 名)

	20% 未満	20~ 30%	30~ 40%	40~ 50%	50~ 60%	60~ 70%	70~ 80%	80% 以上	平均湿 度 (%)	平均温 度
10 未満	1	-	-	-	-	-	-	-	6.0	2.0
10~12	-	-	-	-	1	-	-	-	50.0	10.0
12~14	-	-	-	-	1	1	-	-	55.0	12.0
14~16	6	5	8	6	6	6	-	1	36.7	15.0
16~18	16	4	11	7	6	3	-	-	30.2	16.7
18~20	15	16	34	51	61	53	6	1	44.2	18.1
20~22	24	26	77	100	164	93	17	3	44.9	20.1
22~24	6	8	13	60	98	93	8	-	50.5	22.5
24~26	7	6	23	49	74	70	14	1	49.5	24.8
26~28	1	2	4	6	6	9	-	1	47.6	26.4
28 以上	1	-	-	2	1	5	1	-	52.0	32.7

■ 人に優しいポジション

⋯ 最多回答ゾーン

50 代以上の高年齢層では、約 48% が「人に優しいポジション」に合致する回答となっています。若者ほどではありませんが、「人に優しいポジション」からはずれた回答をしている人が 52% と半数を超えています。

### 3. 我が町の“空気”

#### 自分の町の“空気”はどんな空気だと感じるか

“明るい”(73.7%)、次いで“乾いた”(70.0%)  
年齢が高くなるほど肯定する率が高くなり、若い世代ほど「暗い」「退廃的」「冷たい」など、自分が住んで着る町に対してネガティブな印象

自分が住んでいる町の“空気”をどんな空気だと感じるかを聞いてみました。肯定率の最も高い項目は“明るい”(「明るい」+「やや明るい」の合計。以下同じ)の73.7%、次いで“乾いた”(70.0%)となっています。以下“楽しい”(69.2%)“のんびりした”(68.7%)“健康的な”(68.6%)“温かい”(68.2%)の順で続きます。

年代別にみると、ほとんどの項目で年齢が高いほど肯定する率が高くなっており、50代以上の人の肯定率が最も高くなっています。逆に、若い世代ほど「暗い」「退廃的」「冷たい」などの自分が住んで着る町に対してネガティブな印象を持っています。

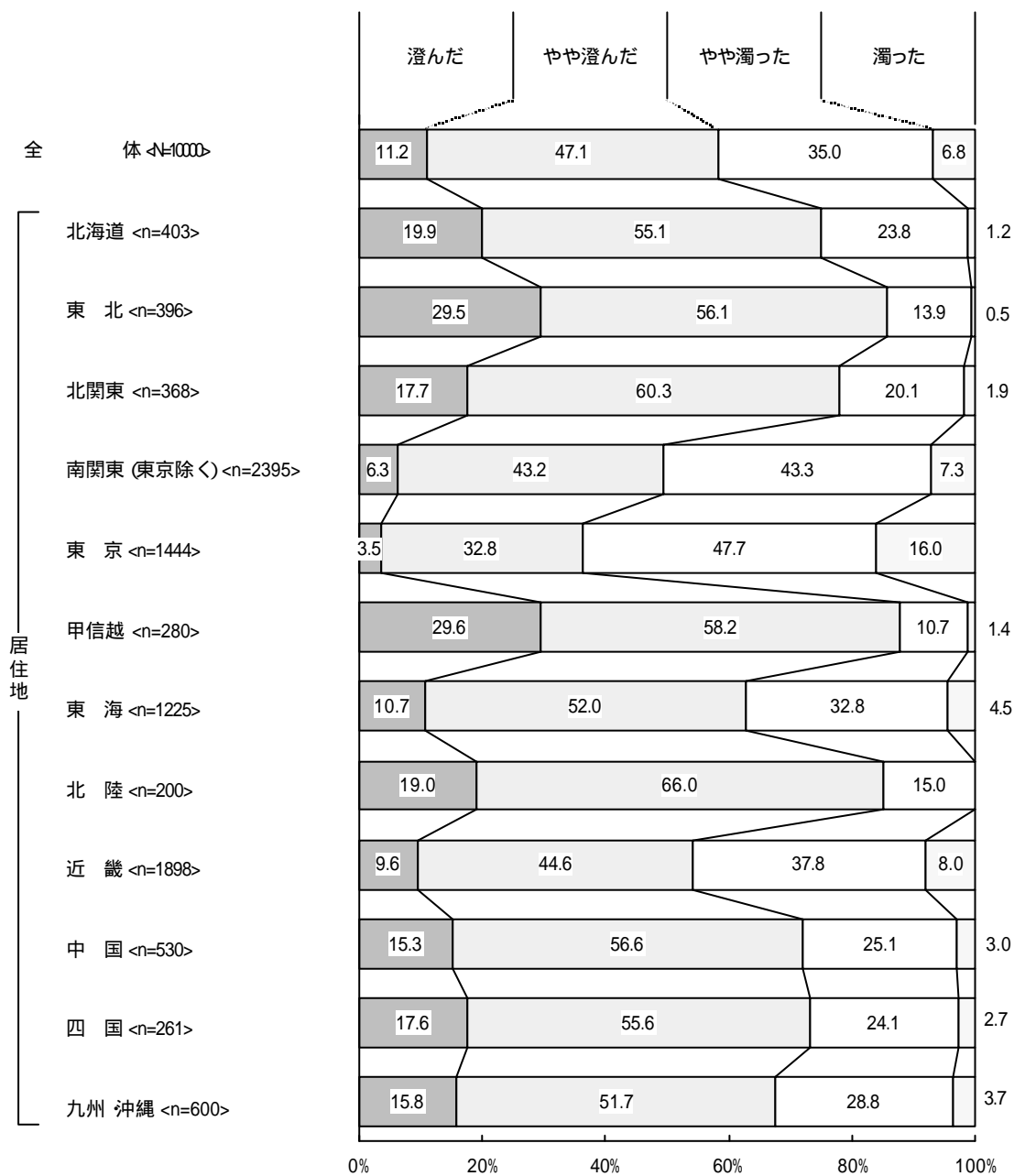
また、性別にはあらゆる項目で女性の方が肯定率が高く、女性の方が自分の住んでいる町の空気を肯定的に捉えています。

住まい別にみると、ほとんどすべての項目で、持ち家でない人より持ち家の人の肯定率が高くなっています。

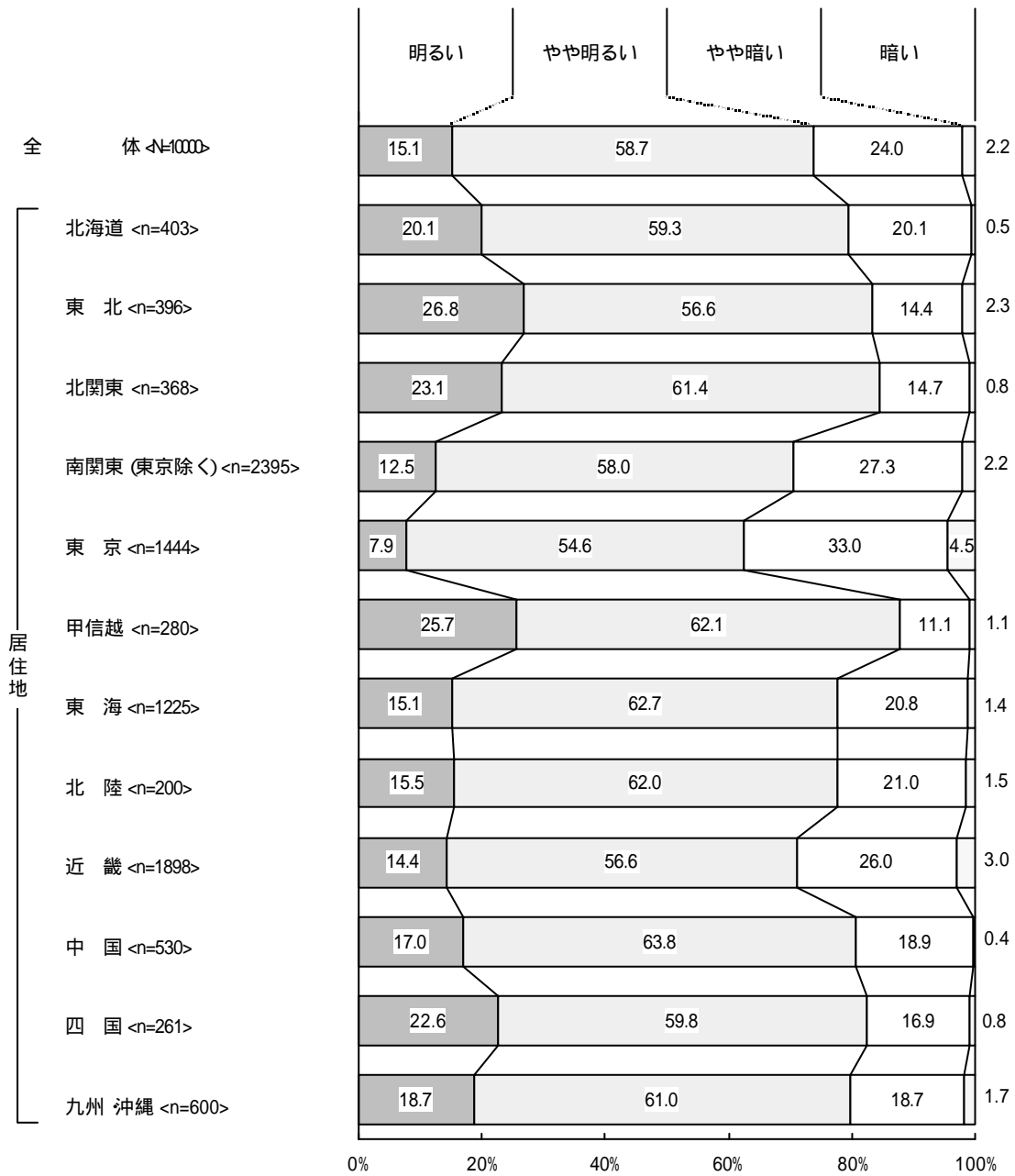
同居者別には、“澄んだ”は、70歳以上の方が同居している家庭(68.0%)の肯定率が高く、病気がちの方が同居している家庭では、“楽しい”(58.8%)“温かい”(57.0%)の肯定率が低めです。

居住地別には、ほとんどすべての項目で、東京での肯定率が低くなっていますが、“乾いた”は、北陸(42.0%)の人の肯定率が低くなっています。また、“温かい”は、四国(88.9%)の人の肯定率が高めです。

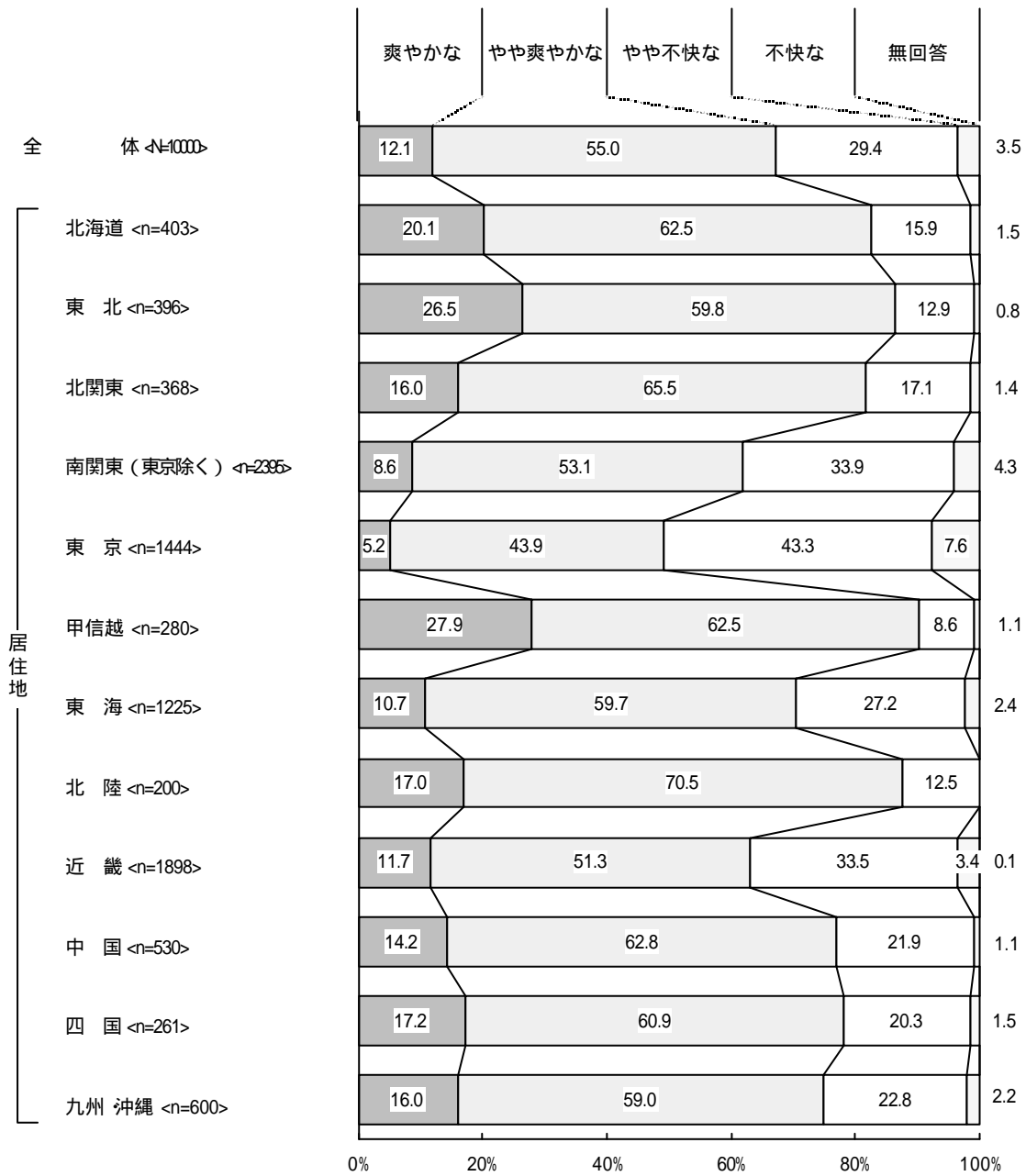
「澄んだ」という印象については、甲信越と東北が自分の住んでいる町を肯定的に捉え、東京と南関東が否定的です。



「明るい」という印象については、全地域とも肯定率が上回っていますが、甲信越が最も肯定的に捉え、東京が最も否定的です。

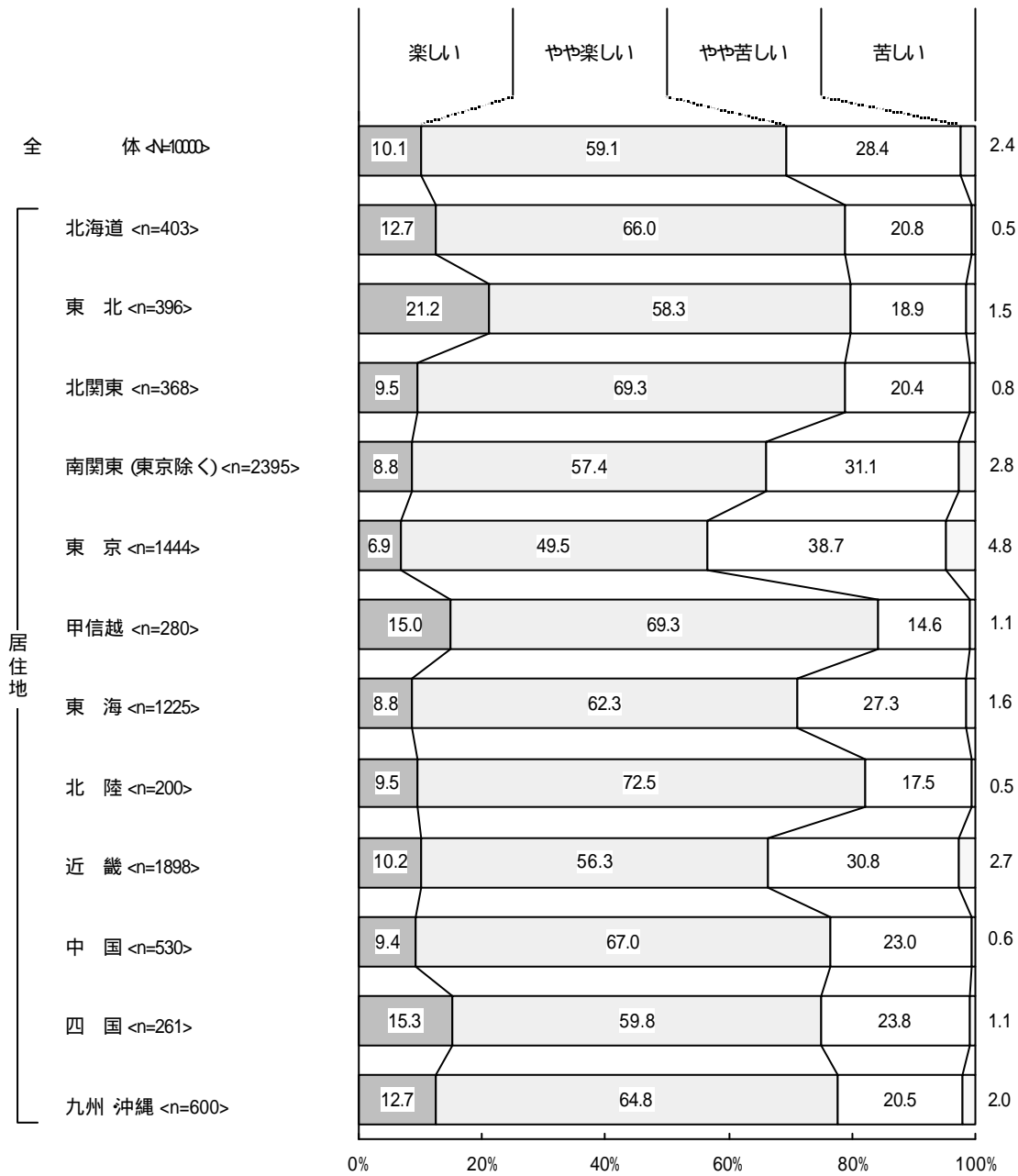


「爽やかな」という印象については、東京だけが否定的な印象を持っています。

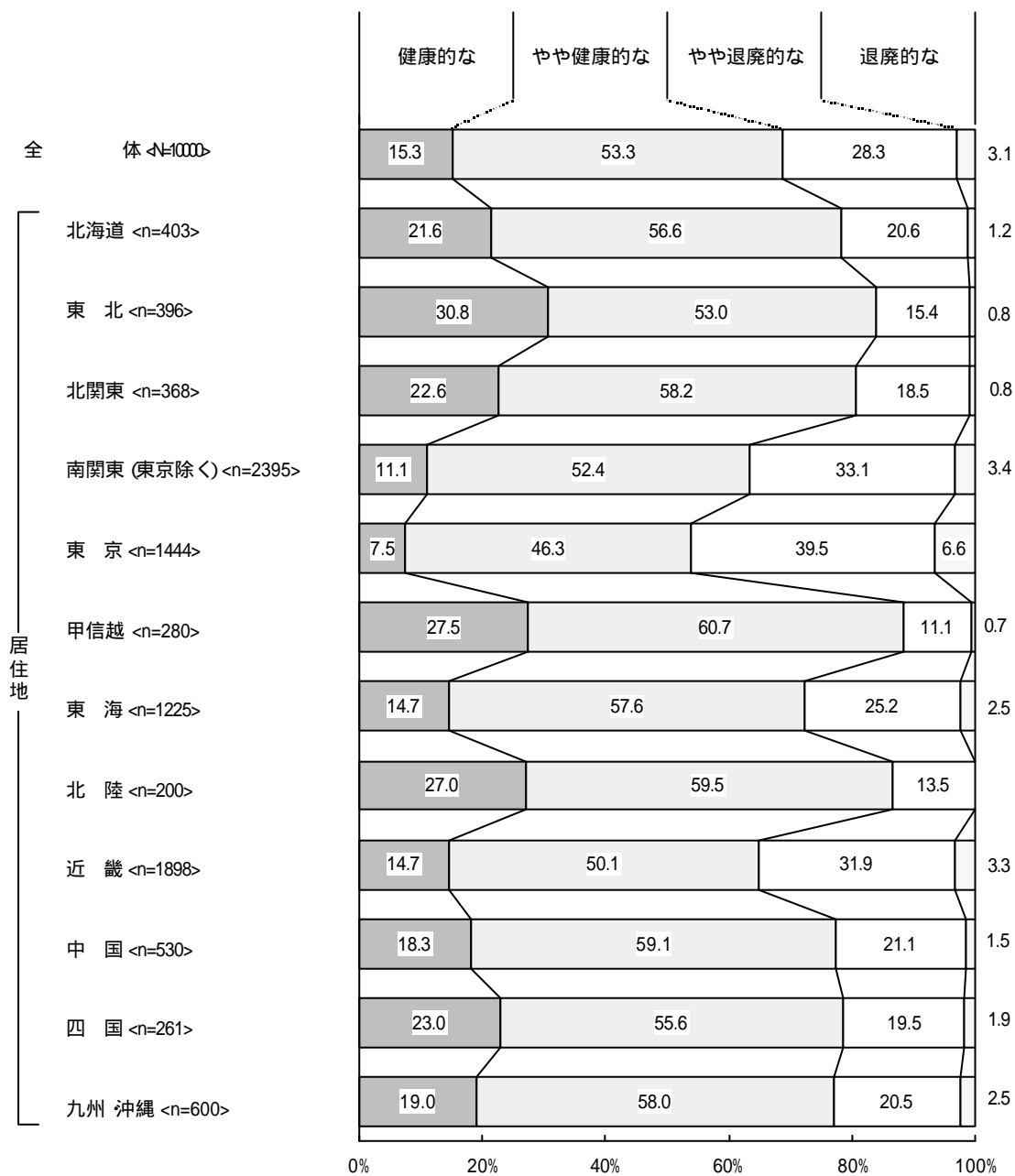




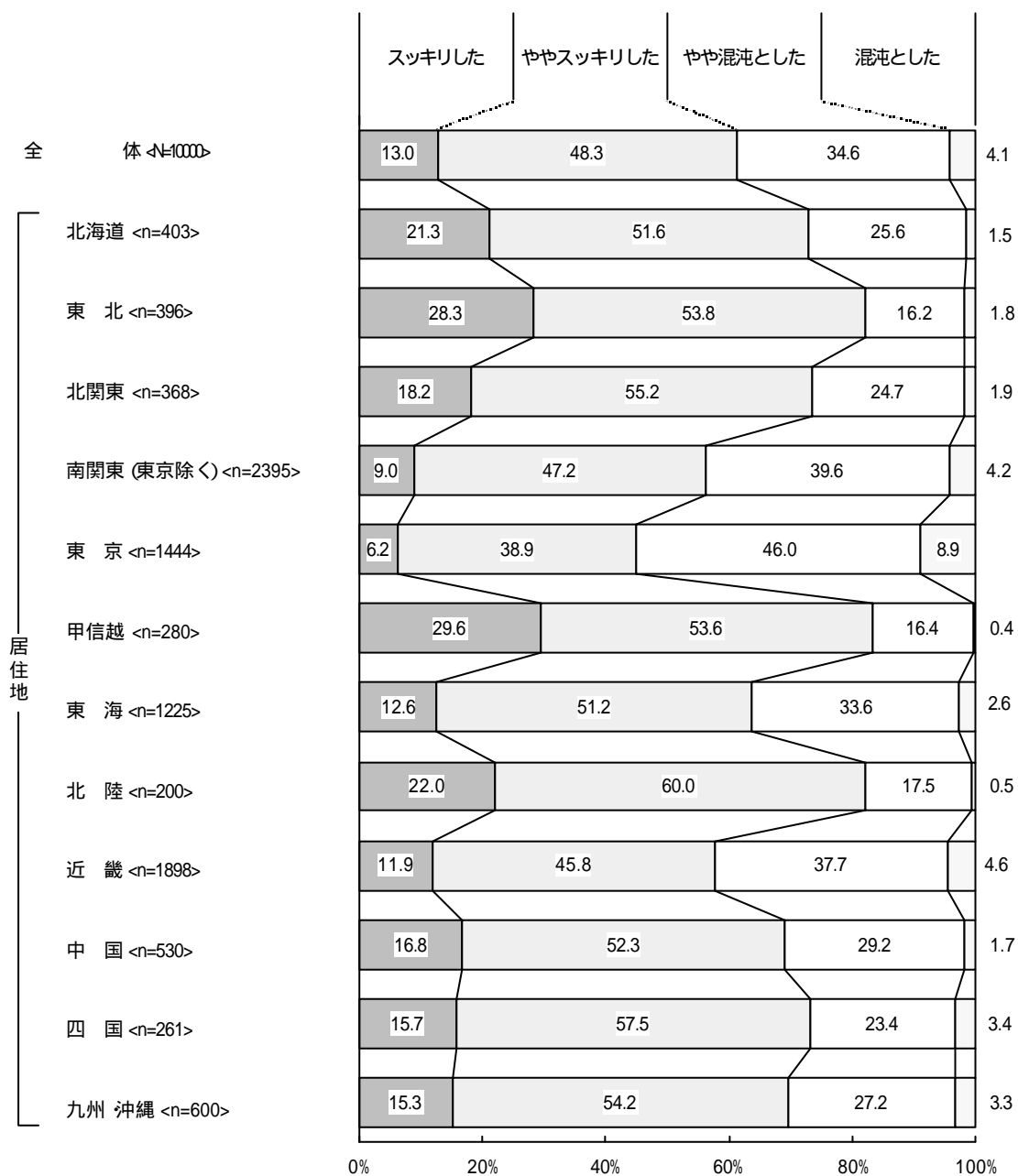
「楽しい」という印象については、全地域とも肯定率が上回っていますが、甲信越が最も肯定的に捉え、東京が最も否定的です。



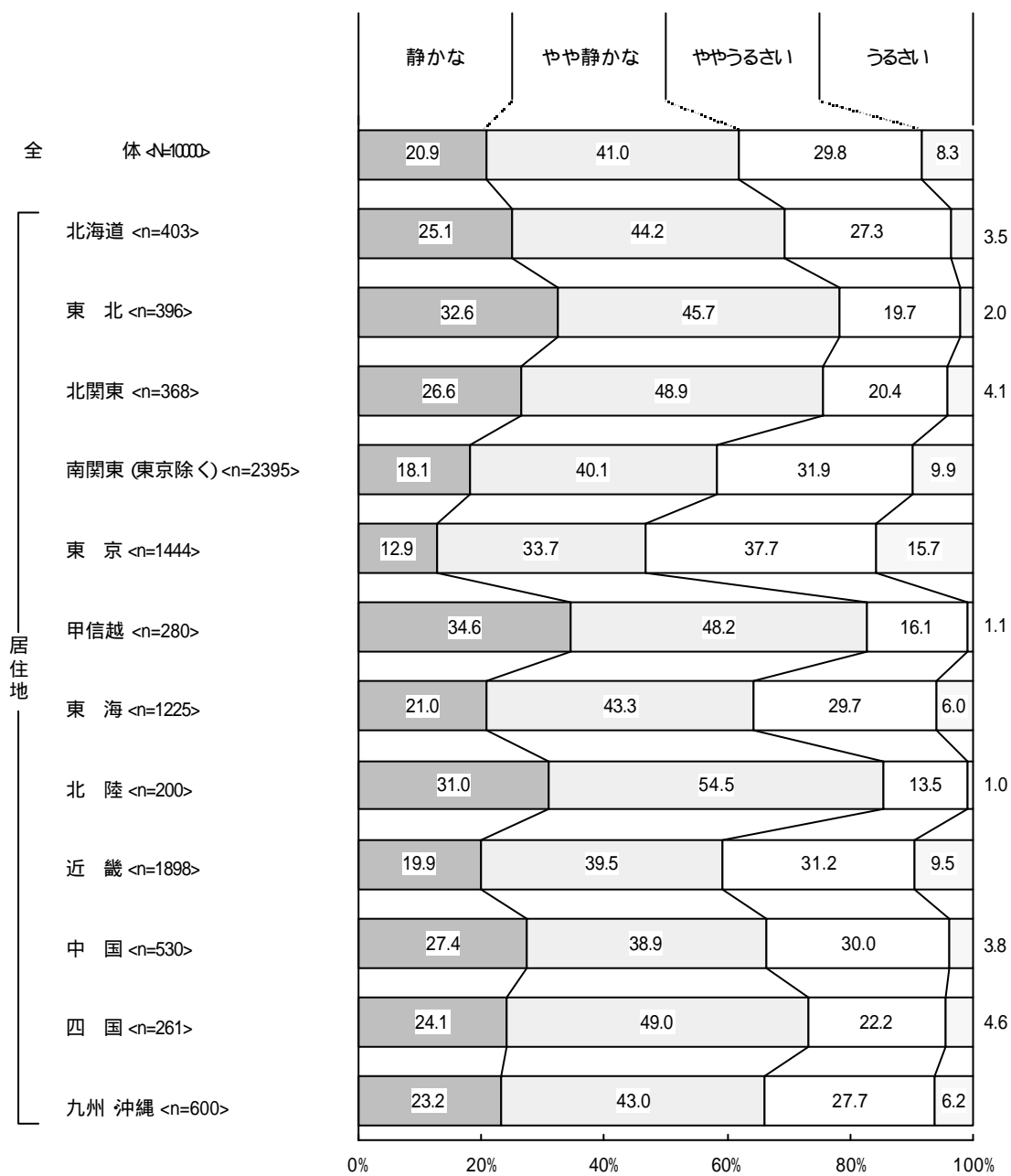
「健康的な」という印象については、全地域とも肯定率が上回っていますが、東北と甲信越が最も肯定的に捉え、東京が最も否定的です。



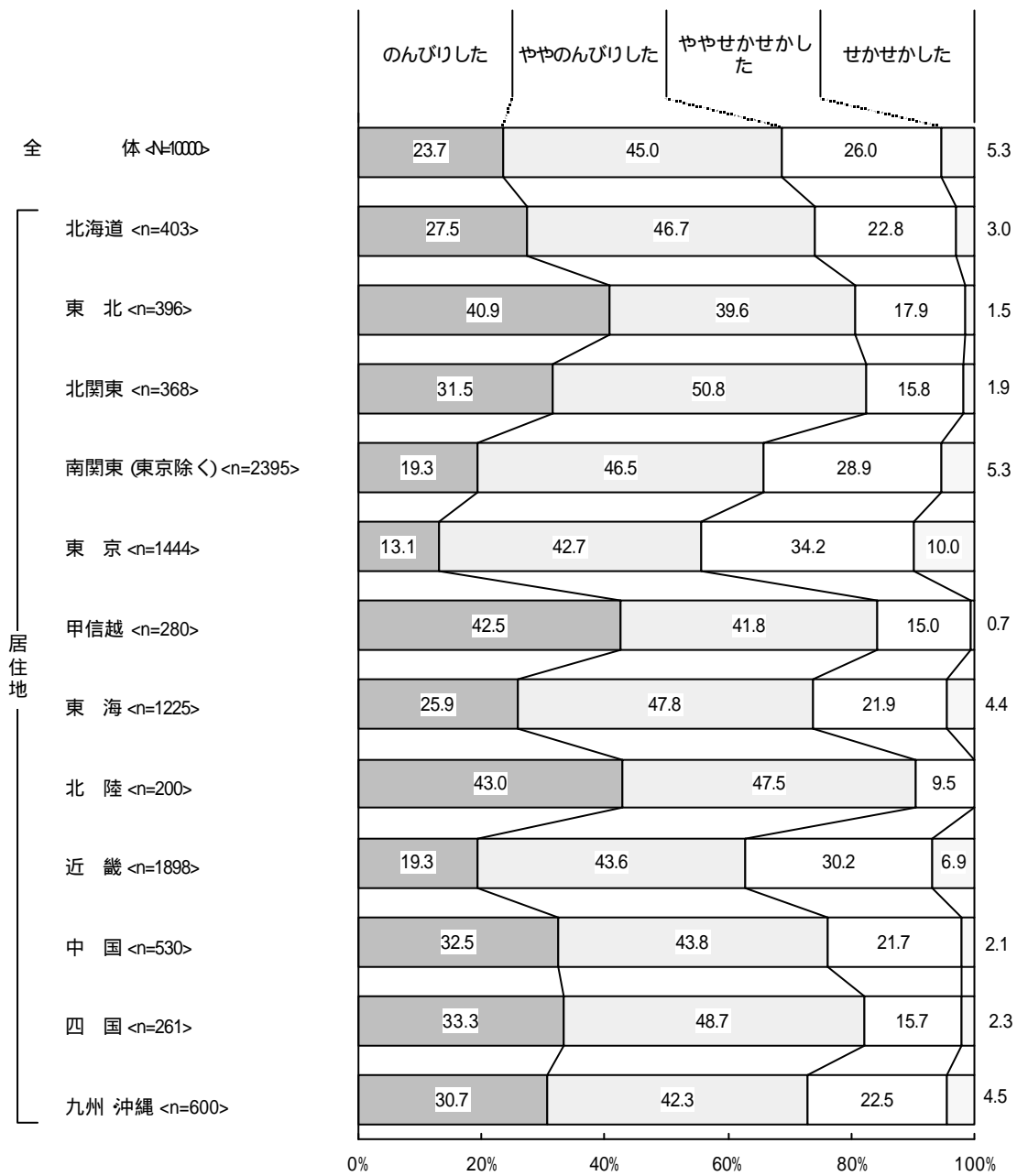
「スッキリした」という印象については、東京だけが否定的な印象を持っています。



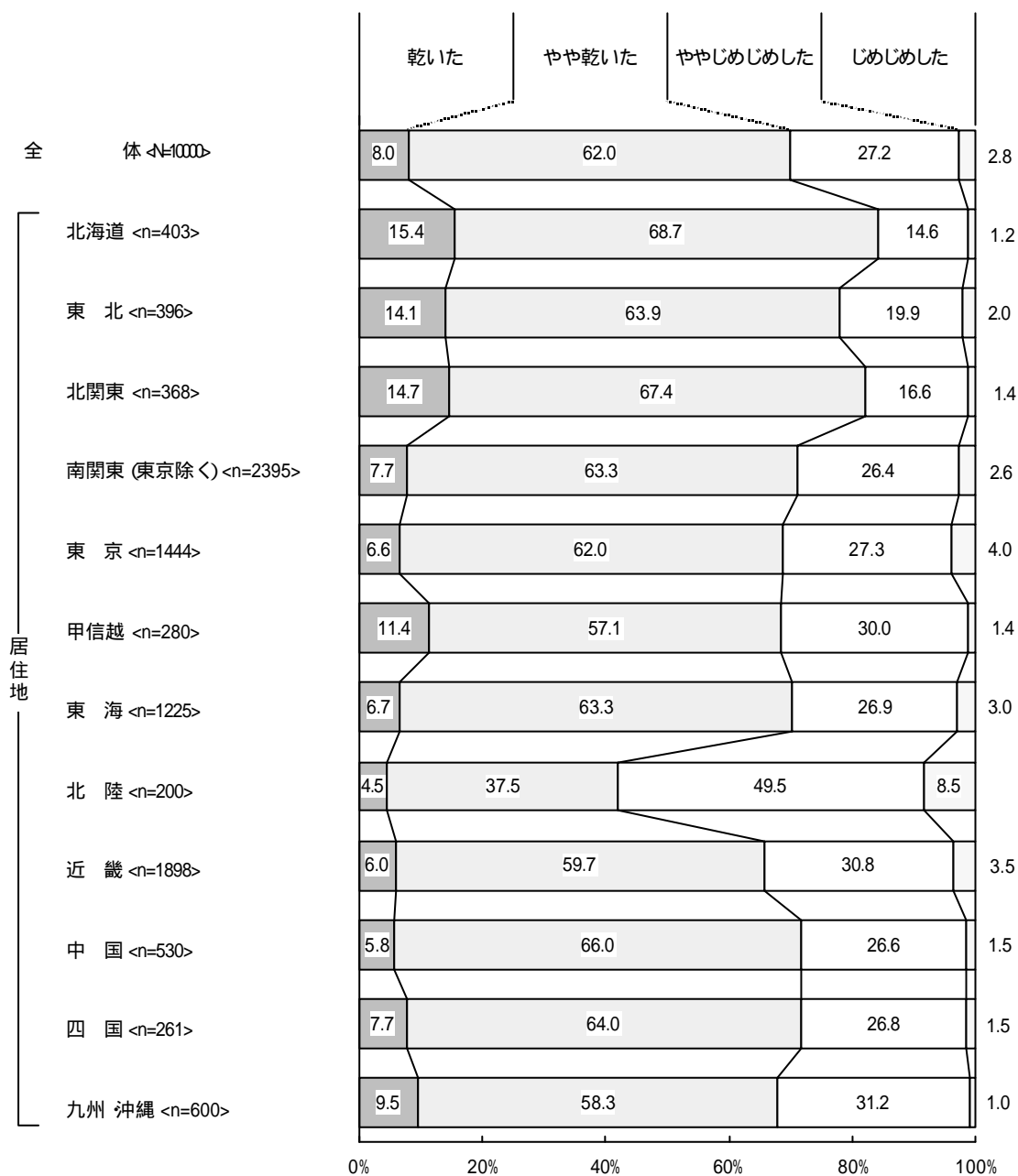
「静かな」という印象についても、東京だけが否定的な印象を持っています。



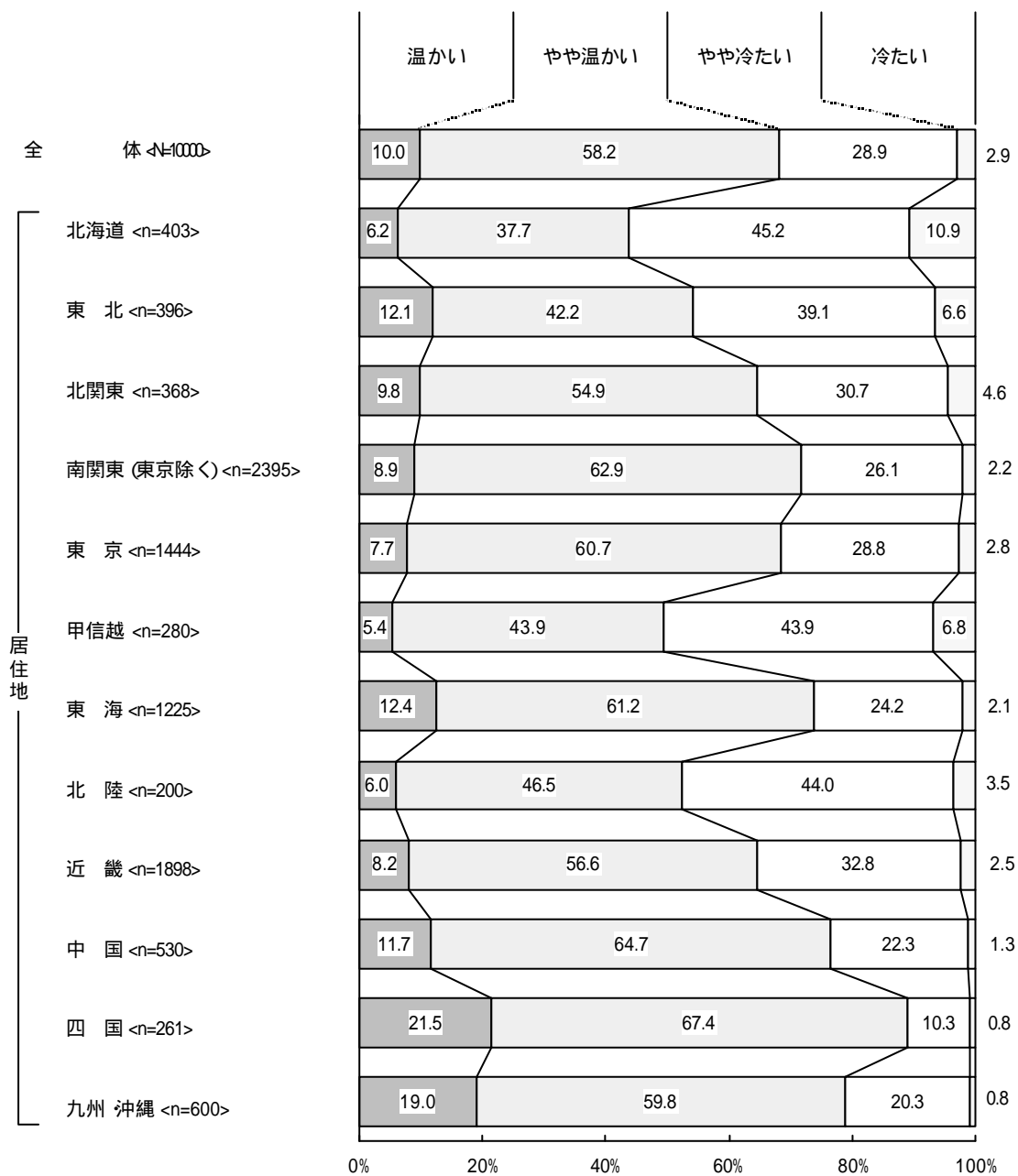
「のんびりした」という印象については、全地域とも肯定率が上回っていますが、北陸と甲信越が最も肯定的に捉え、東京が最も否定的です。



「乾いた」という印象については、北陸だけが否定的な印象を持っています。



「温かい」という印象については、北海道と甲信越だけが否定的な印象を持っています。



## 現在の東京の“空気”はどんな空気だと感じるか

東京以外の人から見ると、東京は「乾いた」(43.6%)、「温かい」(32.7%) 空気だが、「せかせか」して「退廃的(不健康)」で、「不快な(爽快感のない)」「うるさい(騒がしい)」空気感の街

東京以外に住んでいる人に、現在の東京の“空気”をどんな空気だと感じるかを聞きました。肯定率の最も高い項目は“乾いた”(「乾いた」+「やや乾いた」の合計。以下同じ)の43.6%、次いで“温かい”(32.7%)となっています。以下“楽しい”(22.9%)“明るい”(22.3%)の順ですが、他の項目はすべて1割以下の肯定率にとどまっています。

居住地別にみると、東京は“乾いた”空気という回答が北陸(65.5%)の人で非常に多く、北海道(19.4%)では少なくなっています。また、“温かい”は、東北(49.0%)北海道(47.1%)、甲信越(同)、北陸(47.0%)の人の回答が多めです。

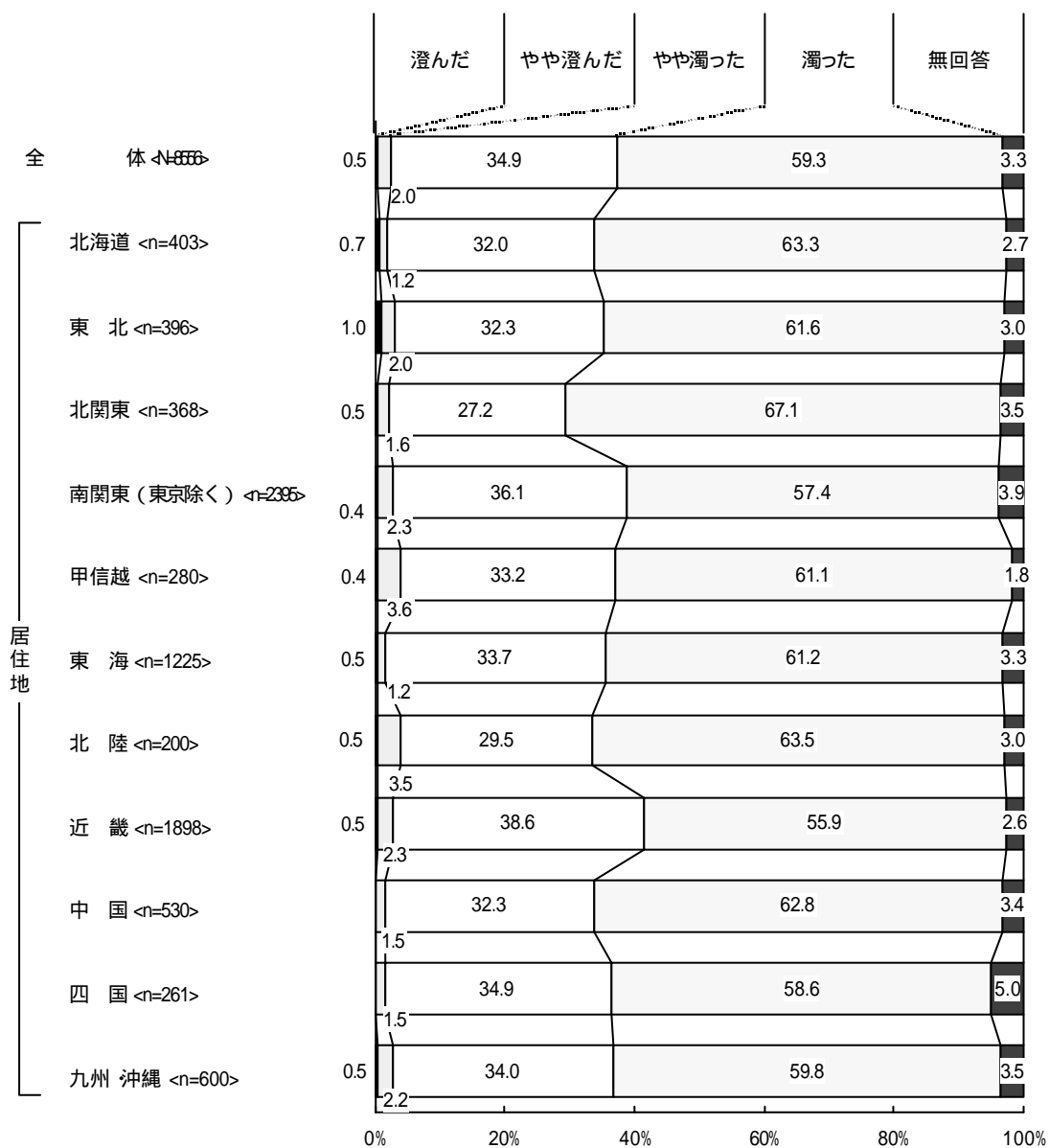
次に、自分が住んでいる町の“空気”と、現在の東京の“空気”を比較してみました。それぞれ肯定している回答の差でみると、最も差が大きかったのは“のんびりした”(差66.9%)、次いで“健康的な”(同62.5%)、以下“爽やかな”(同61.5%)“静かな”(同60.4%)となっています。

反対に、差が小さかったのは“乾いた”(同26.4%)“温かい”(同35.5%)などです。

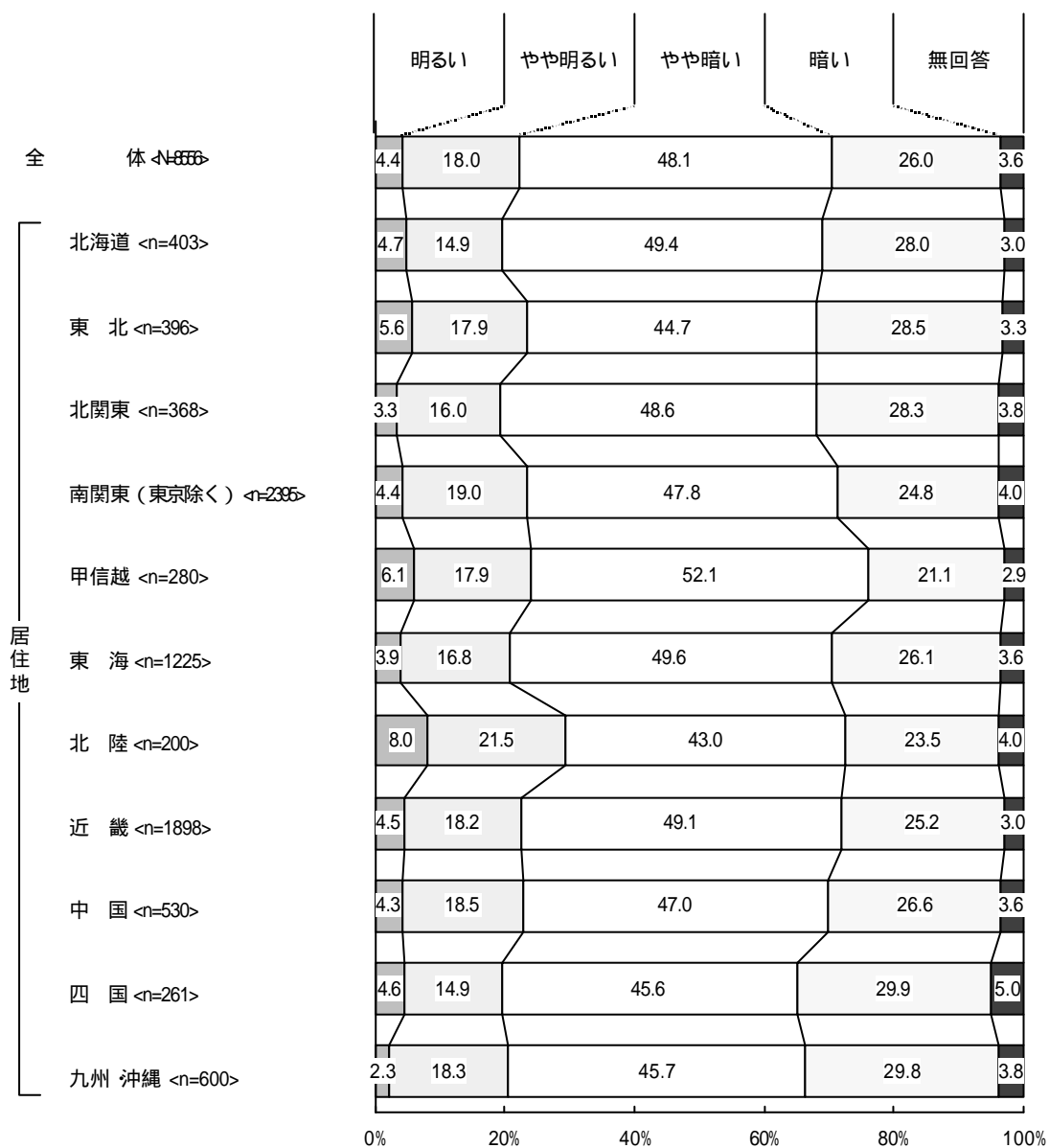
言葉を換えれば、地方の人から見て、東京は「せかせか」して「退廃的(不健康)」で、「不快な(爽快感のない)」「うるさい(騒がしい)」といった空気感の街と言えます。



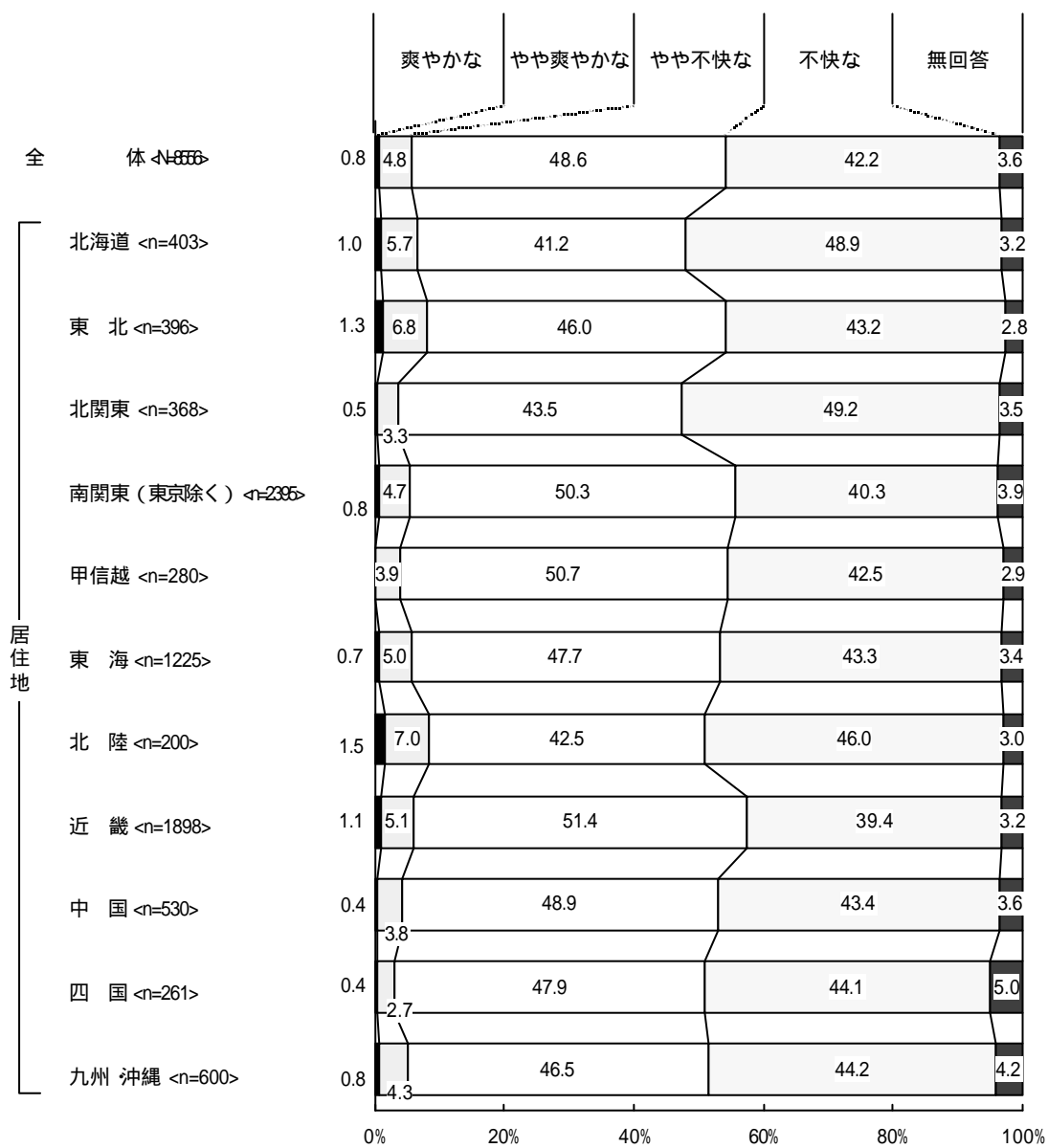
あらゆる地域の方が、東京は「濁った」街だと捉えています。



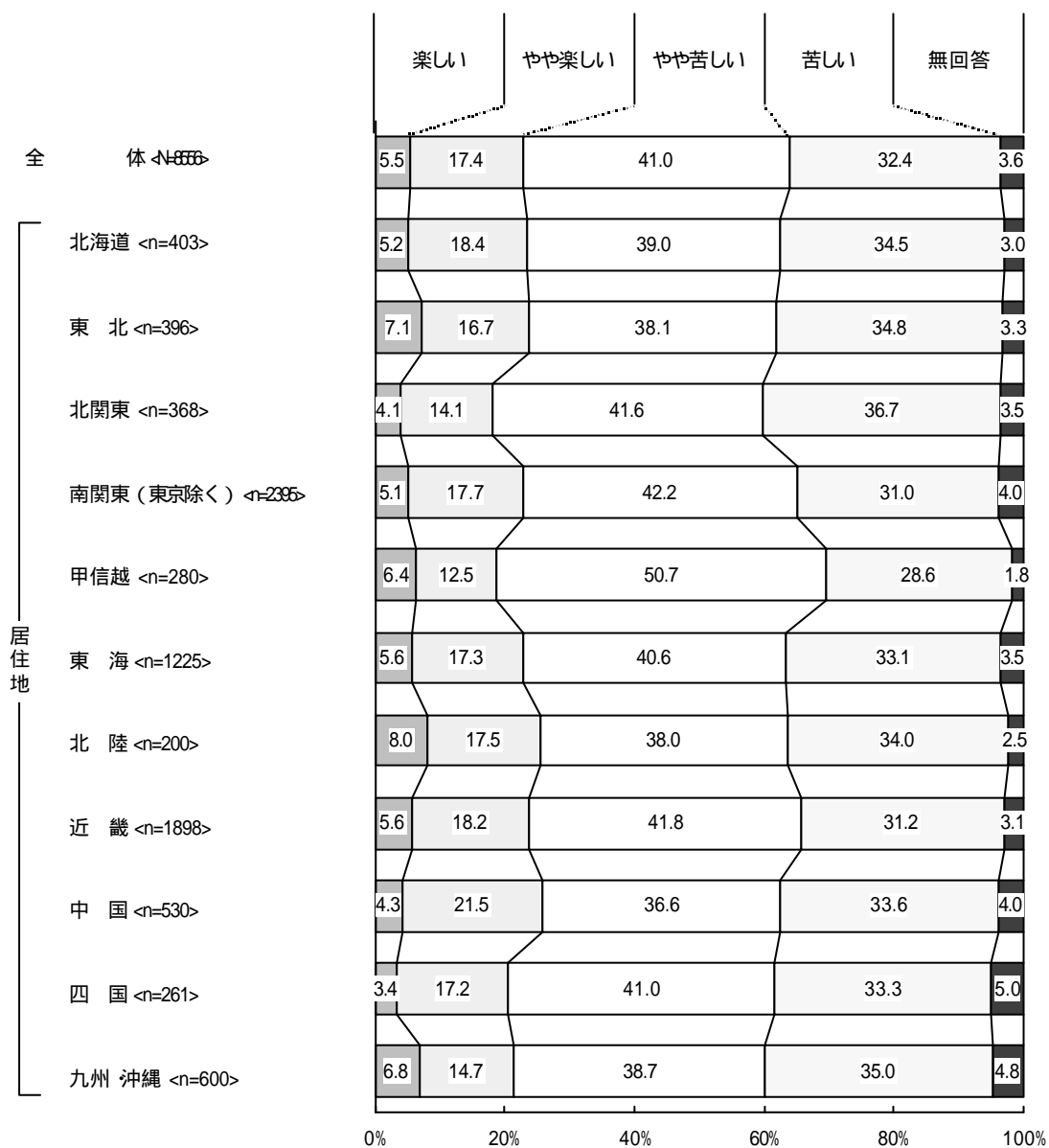
あらゆる地域の方が、東京は「暗い」街だと捉えています。



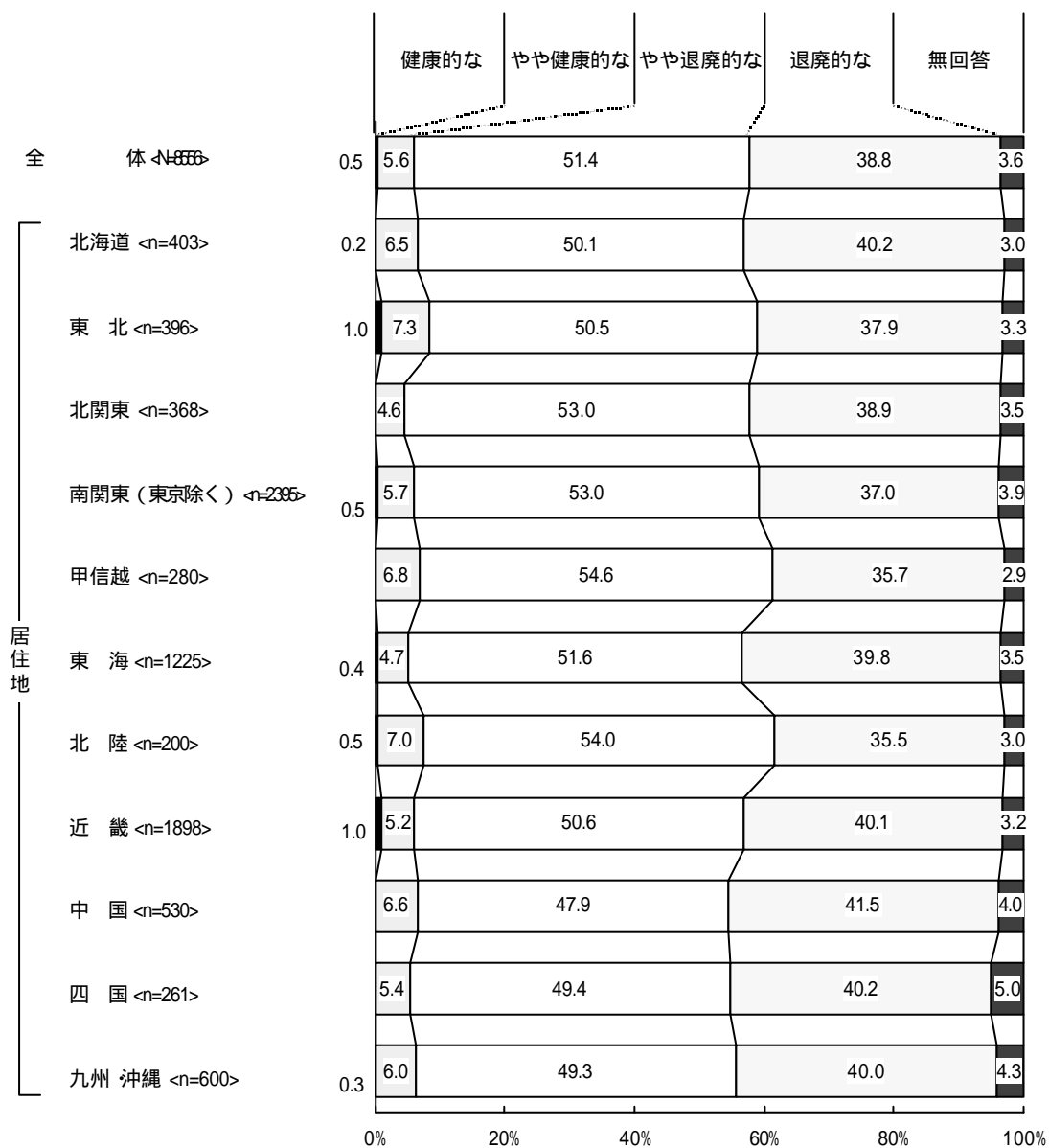
あらゆる地域の方が、東京は「不快な」街だと捉えています。



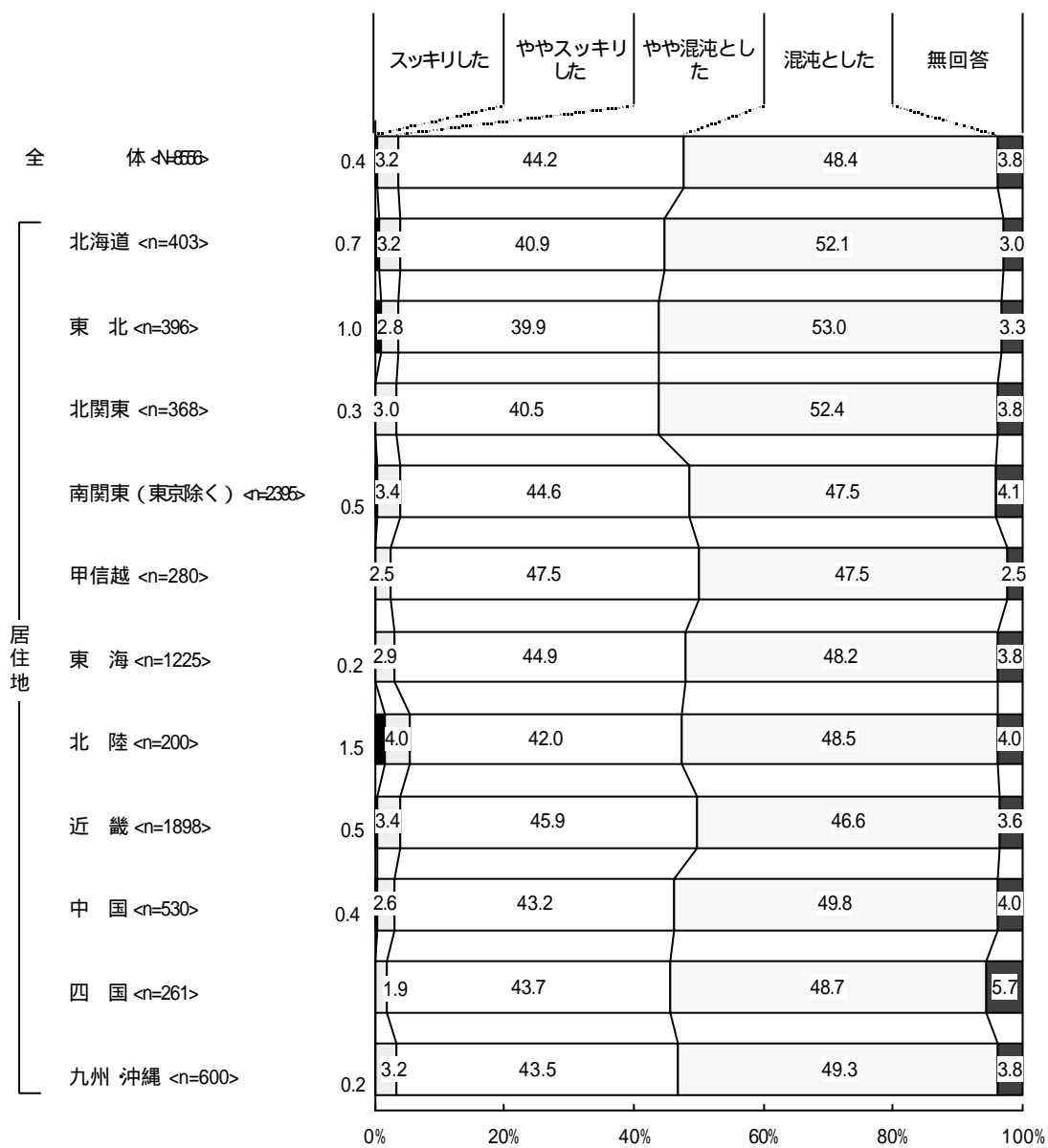
あらゆる地域の方が、東京は「苦しい」街だと捉えています。



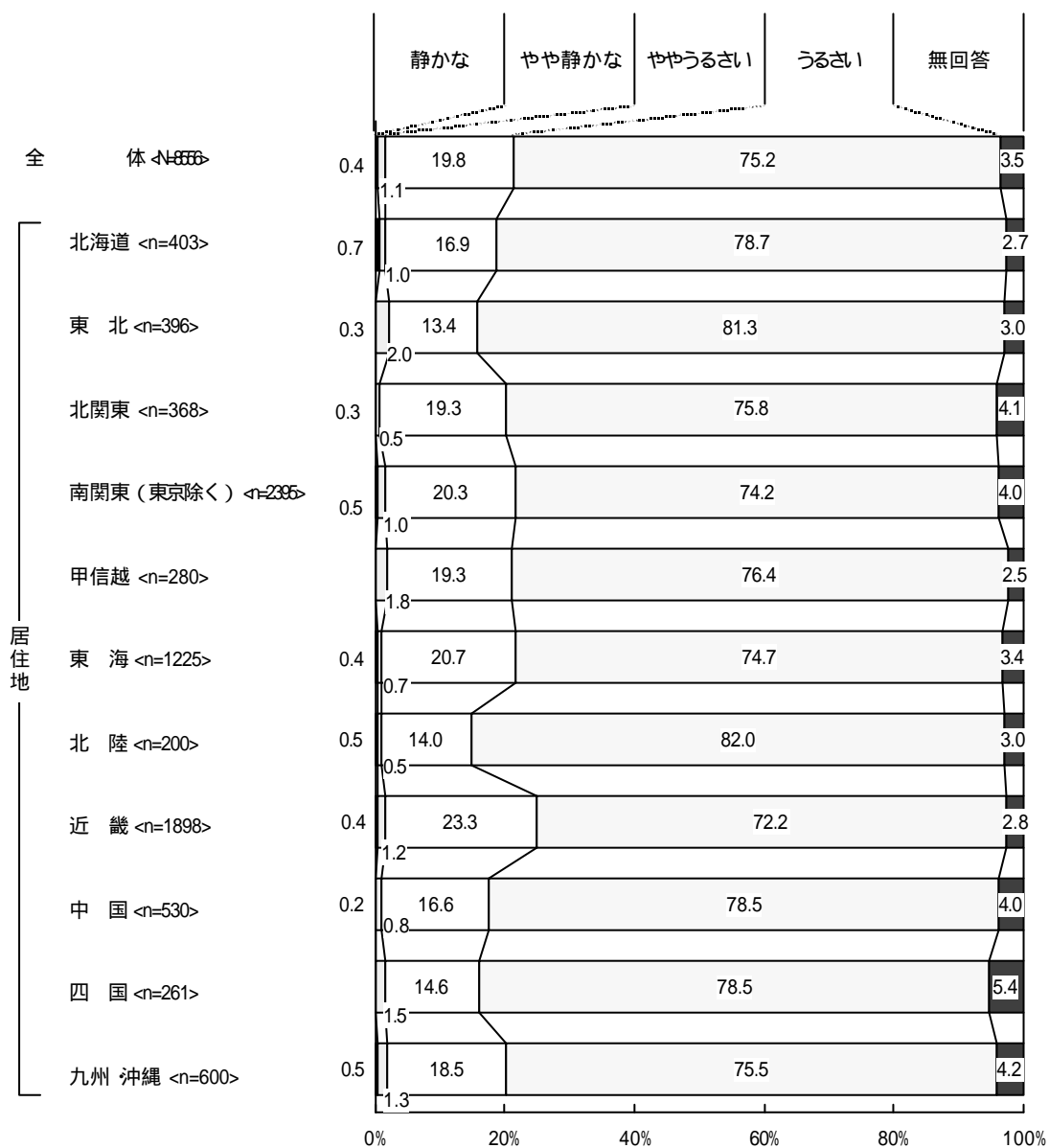
あらゆる地域の方が、東京は「退廃的な」街だと捉えています。



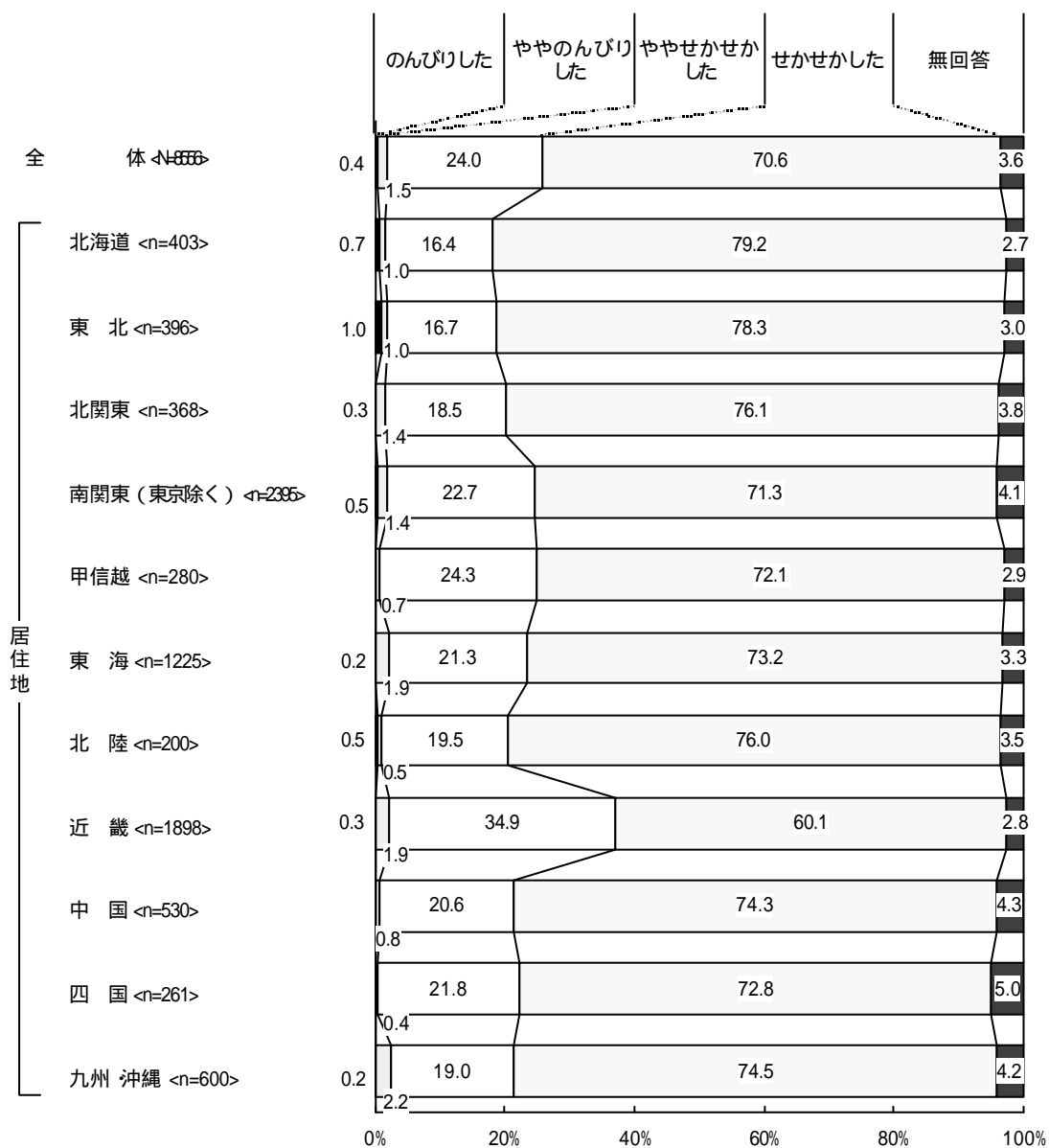
あらゆる地域の方が、東京は「混沌とした」街だと捉えています。



あらゆる地域の方が、東京は「非常にうるさい」街だと捉えています。

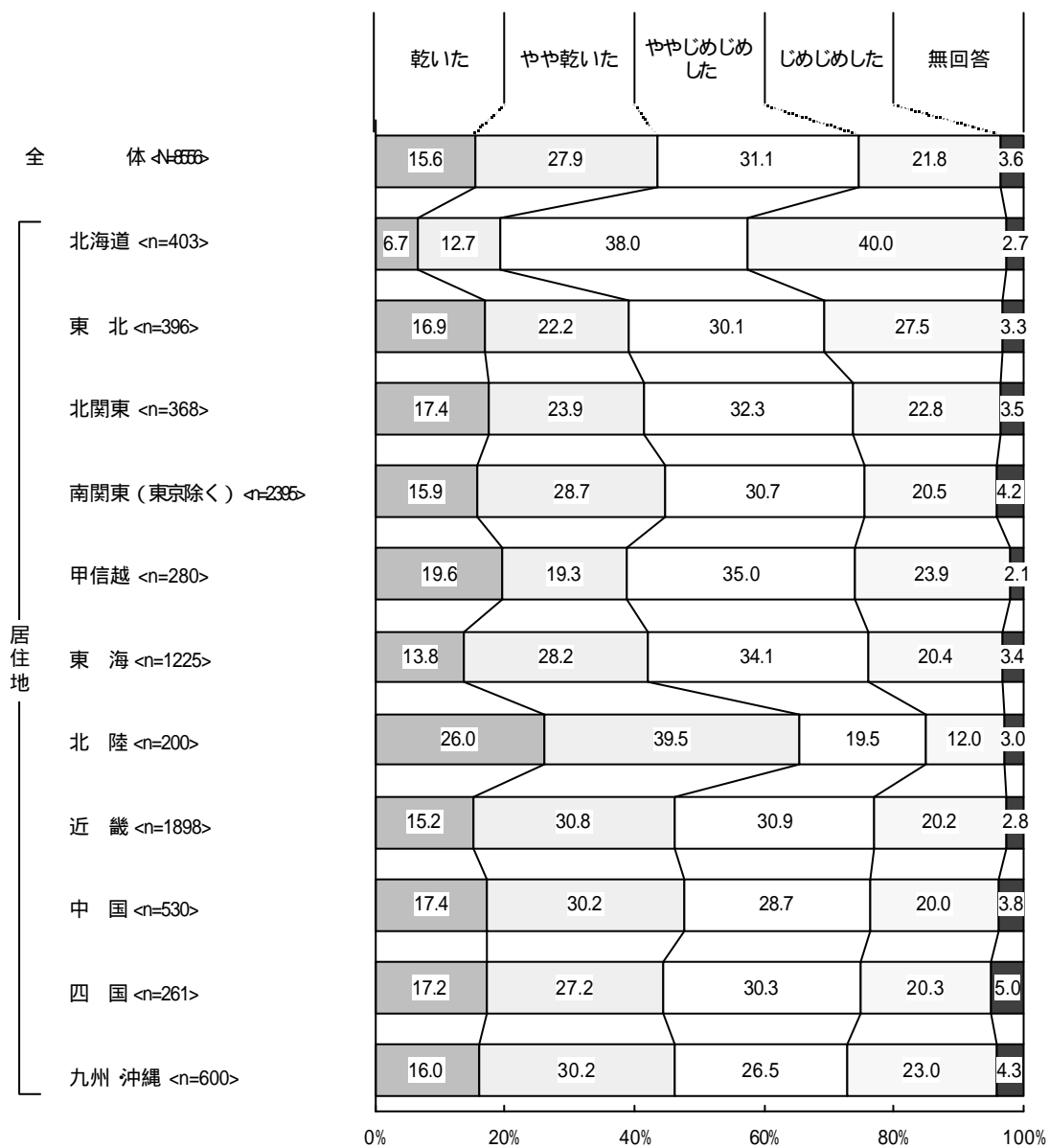


あらゆる地域の方が、東京は「非常にせかせかした」街だと捉えています。

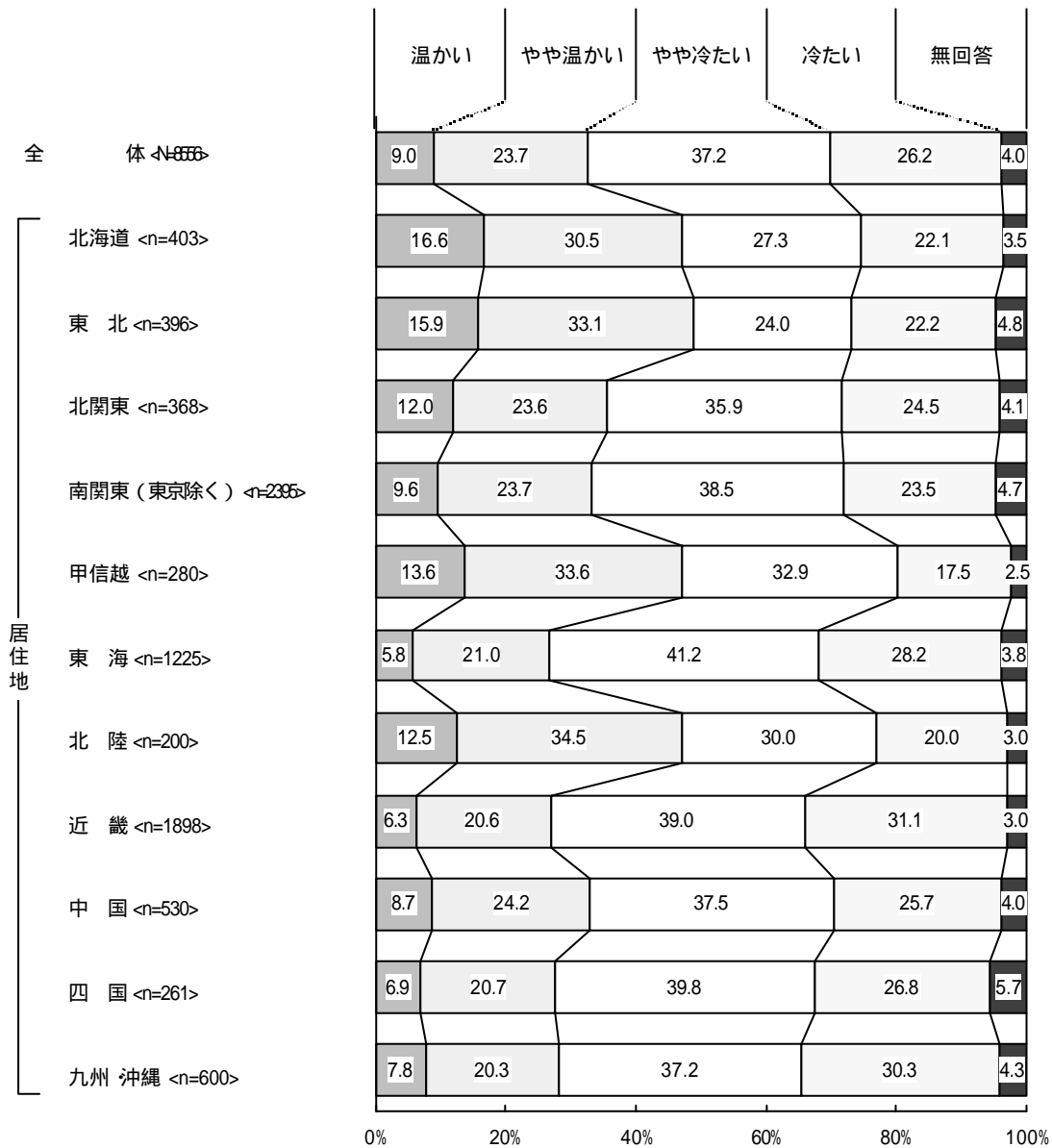




北海道の人は、東京を「じめじめ」街だと捉えています、北陸の人は逆に「乾いた」街だと捉えています。



東北・甲信越・北陸の人は、東京を「やや温かい」街だと捉えています。東海と近畿人は「冷たい」街だと捉えています。



## 東京で最もきれいな空気のある場所

東京できれいな空気のある場所は「奥多摩」「皇居」「八王子・高尾」  
しかし、一方で「わからない」「東京にはない」という答えも多い

東京できれいな空気のある場所は、「奥多摩」(奥多摩・多摩地域・西多摩・檜原村付近・都民の森・秋川溪谷など)という回答が最も多く、次いで「皇居」「八王子・高尾」などが続いています。

しかし、「わからない・東京にはない」という答えも多く見られます。

23 区内では「世田谷」(駒沢・砧・等々力溪谷など)と「渋谷」(代官山・代々木公園など)が上位にあげられています。

少しユニークな回答としては「空調の完備されたビルの中」「高層ビルの上層階」「東京タワーのてっぺん」「総理官邸」「一流料亭」などといった回答も見られます。

なお、「奥多摩」「世田谷」「渋谷」「空調の完備されたビルの中」などの回答は東京や南関東の人が多く、「東京タワーのてっぺん」「皇居」「明治神宮」「上野の森」「お台場」などの回答は東京以外の人の回答が多くなっています。

奥多摩(2540)	三多摩・都下(1419)
・奥多摩・西多摩(2218)	・八王子(高尾・陣馬山など)(766)
・檜原村付近・都民の森(124)	・青梅市(131)
・秋川溪谷(68)	・東村山市(119)
・あきる野市周辺)(41)	・三鷹市(井の頭公園など)(106)
・雲取山(27)	・武蔵野(88)
・御岳山(18)	・立川市(昭和記念公園など)(40)
・日の出町(18)	・町田市(34)
・丹沢(8)	・国立市(22)
・五日市(6)	・三多摩地区(16)
・林試の森公園(5)	・小金井公園(14)
・奥多摩の氷川(3)	・国分寺(11)
・日原鍾乳洞(2)	・西東京市(11)
・小河内ダム、福生市	・府中(11)
	・調布・深大寺(8)
都心から離れた郊外など(141)	・清瀬(8)
・郊外(64)	・昭島市(6)
・県境(36)	・小平市(5)
・都下・都心から離れたところ(28)	・日野市(5)
・田舎・田園(13)	・稲城市(4)

- わからない・東京にはない(1166)
  - ・わからない・知らない(764)
  - ・東京にはない(286)
  - ・23区内にはない(56)
  - ・思いつかない(41)
  - ・イメージできない(19)
- 皇居・御所(1909)
  - ・皇居(1898)
  - ・東宮御所(5)
  - ・赤坂御所(6)

#### 23区(636)

- ・世田谷区(駒沢・砧・成城・下北沢・二子玉川・等々力溪谷など)(113)
- ・渋谷区(代官山・恵比寿・代々木公園など)(103)
- ・練馬区(石神井公園・光が丘・大泉学園など)(58)
- ・港区(青山・浜離宮・広尾・芝公園・有栖川公園など)(39)
- ・葛飾区(柴又・水元公園など)(36)
- ・文京区(後楽園・小石川植物園)(26)
- ・杉並区(荻窪・善福寺公園など)(13)
- ・江戸川区(江戸川公園・河川敷など)(12)
- ・北区・飛鳥山公園(9)
- ・豊島区(豊島園・豊島公園・池袋)(8)
- ・文京区(湯島聖堂・六義園)(7)
- ・品川区(5)
- ・霞が関(5)
- 山の手・高級住宅街(142)
- ・山の手地区(7)
- ・高級住宅街(11)
- ・田園調布付近(85)
- ・白金・白金台(19)
- ・自由が丘(12)
- ・大森・池上本門寺周辺(7)
- ・北品川・御殿山  
下町(60)
- ・下町(6)
- ・浅草・谷中(36)
- ・墨田区(6)
- ・足立区(6)
- ・巣鴨(3)
- ・千住(3)
- ・秋葉原(3)

- ベイエリア (381)
- ・お台場 (235)
- ・海沿い (58)
- ・東京湾周辺 (38)
- ・葛西海浜公園付近 (18)
- ・うみほたる (7)
- ・天王洲アイル (5)
- ・晴海 (5)
- ・ビックサイト (3)
- ・大井埠頭 (3)
- ・有明地区 (3)
- ・木場 (3)
- ・勝鬨橋
- ・月島
- ・青海
- 島部 (466)
- ・伊豆諸島 (252)
- ・小笠原諸島 (214)
- 大公園・緑地 (464)
- ・明治神宮 (146)
- ・新宿御苑 (125)
- ・神宮外苑 (76)
- ・上野の森 (68)
- ・日比谷公園 (26)
- ・北の丸公園・千鳥が淵・靖国神社 (23)
- 河川沿い (242)
- ・多摩川沿い (98)
- ・隅田川のほとり (23)
- ・荒川沿い (23)

#### 大きな公園や山間部 (166)

- ・大きな公園 (73)
- ・山間部 (64)
- ・緑が多い所 (29)

#### 空調などの完備された建物の中 (209)

- ・オフィスの中 (56)
- ・空調が完備されたビルの中 (42)
- ・高級ホテル、一流ホテル、ホテルの中 (27)
- ・都庁、都庁の知事室 (20)
- ・美術館・博物館の中 (11)
- ・ビルの中 (9)
- ・禁煙オフィス (8)
- ・東京ドームの中 (8)
- ・デパートの中 (7)
- ・我が家・家の中 (7)
- ・図書館の中 (5)
- ・マイナスイオン発生器の置いてある部屋 (3)
- ・電気屋の空気清浄機の前 (3)
- ・サントリーホール
- ・フィットネスクラブ
- ・有楽町マリオンの中

高層ビルの上層階 (72)

- ・高層ビル・ビルの屋上(59)
- ・都庁の屋上(6)
- ・サンシャインの最上階(4)
- ・高層ホテルの上の方(3)

クリーンルームなど (54)

- ・工場のクリーンルームの中(31)
- ・病院・集中治療室・無菌室(18)
- ・ダイキンの実験室・研究所(5)

その他

- ・東京タワーのてっぺん(83)
- ・羽田空港(12)
- ・地下街(6)
- ・ジブリの森博物館(5)
- ・みさきの森美術館
- ・迎賓館
- ・総理大臣官邸
- ・一流料亭